



TUS *Journal*



入学式当日の日本武道館

vol. 185

物華天宝 素振り100万回までの道

わたしの剣道の師である故・山内富雄範士は名人と言われた剣士だった。その師が60歳になった時、素振り100万回に挑戦し2年半掛けて成就した。後年、師は言った。「30万回のころ、刀の握り方がわかった。70～80万回のころ、刀の振り方がわかった。100万回に達するころ、打った瞬間や突いた瞬間に何とも言えない感触が掌に残った」

わたしは32歳の時、師に倣い元旦から素振り100万回に挑戦した。11カ月振って昇段したが、以来やめてしまい37

万回で挫折した。それから25年後、57歳の時、八段審査に向けて素振りを再開した。時には刀で振った。1年経ったころ、刀を振る音が、絹を切り裂く音のようになって手応えを感じた。

剣道は五感のすべてを相手の一挙手一投足に集中させて対峙し、第六感で打突する。時には相手から想定外の攻撃を受けるが、それを受け止めるのは精神力、すなわち「胆力」だ。

つまりどのような状況に置かれても平常心でいられるようにすること。しかし

これは難しい。誰もが勝ちたいし、審査なら受かりたい。そういう想いを捨て去った時に無我の境地になれるのだろう。それを作るのが素振りである。

素振りの代わりに座禅をする人もいるが、わたしは剣士なので素振りをした。石の上にも三年、想定外のことに動揺しなくなって合格した。

素振りという極単純な行為だが奥が深い。100万回までかなりの道程だが、師の境地まで行ってみたい。
(理工学部 教養 教授 小澤博)

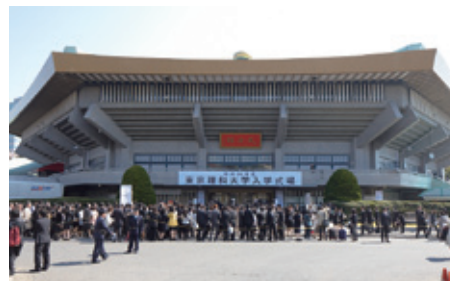
Headline

- | | |
|-------|--|
| 02-03 | 学長入学式式辞
「人間としての第一人者を目指して」 |
| 04 | 平成24年度予算 |
| 05 | 平成24年度事業計画が決定 |
| 06-07 | 新任教員紹介 |
| 08-09 | 優れた成果を挙げた学生を表彰 |
| 10 | Topics |
| 11 | 『こちら葛飾区亀有公園前派出所』作者
秋本治先生インタビュー
／葛飾Walk!!「スイーツ特集」 |
| 12 | 平成23年度卒業式 |

平成24年度 入学式を 挙行

start!

平成24年度東京理科大学入学式が、4月9日(月)に日本武道館(東京都千代田区)で行われました。約5,500人の新入生を迎えた会場は晴れやかな笑顔で満たされました。



ジャグリング部の演技



藤嶋昭学長の式辞



新入生の皆さんへ

「一日、一日を大切に、人間としても

桜が満開です。東京理科大学への入学をお祝する今日、まさに皆さんの希望に溢れた素晴らしい門出を祝うにふさわしい満開の桜です。

昨年は大変な年でした。3月11日の東日本大震災により多くの方が被災され、わが大学もここ日本武道館での入学式を中止せざるを得ませんでした。被災地も少しずつ復興しつつありますが、まだまだ大変な状況にある方々も多く、心からお見舞い申し上げます。

本日ここに、多数のご来賓の皆さまならびに関係各位のご臨席のもと、平成24年度東京理科大学入学式を挙行するにあたり、学長として皆さまにお祝いのごあいさつを申し上げます。

新入生の皆さん、大学院、専攻科に進学された皆さん、ご入学、ご進学まことにおめでとうございます。また、学生の皆さんを今日まで支えてこられたご家族の方々にも心からお慶びを申し上げます。

新入生の皆さんには、東京理科大学で学ぶにあたって、本学の歴史や教育方針などについてご説明するとともに、これから大学生活を送るにあたっての心構えなどについてもお話したいと思います。

東京理科大学の淵源は、今をさかのぼること131年、明治14年(1881年)に設立された「東京物理学講習所」という小さな専門学校にあります。2年後に「東京物理学校」と改称されましたが、創立に携わったのは、当時、

東京大学理学部物理学科を卒業したばかりの20代半ばの若い理学士たちでした。司馬遼太郎の著した「この国のかたち(第3巻)」に、以下のように書かれています。「神田には江戸時代から文武の私塾が密集していて、明治後、いっそうふえた。そのうちのいくつかが、こんにちでは総合大学、もしくは単科大学になっている。」「そのなかで高貴ともいべき例がある。神田に設けられた私学の一つ東京物理学校(こんにちの東京理科大学)のことである。明治初年、東京大学の理工系を出た人達には、国家のカネによって学問をさずかったということで、国恩を感じる人が多かったらしい。とくに明治12年(1879年)前後の理学部物理学科の卒業生にその意識がつかった。かれら21人は、同盟を結び、報恩のために一私学を興そうと申しあわせた。」

以上のように司馬遼太郎氏が書いておられますが、以来21人の方々を中心に、多くの困難を克服し、多大の努力を払って学校を運営したのです。わが国が近代化を成し遂げた明治から大正にかけて、当時のエリート養成学校である、全国の師範学校と中等学校の数学、物理学、化学の教員の内、実に半数以上を物理学校の卒業生で占めることによって、「理学の普及によって国を発展させる」という建学の理念を実践したのでした。したがって当時は、学校の理数教員といえば物理学校出身者ということになっていましたので、夏目漱石の小説「坊っちゃん」の主人公の数学の先生も物理学校出身

なのです。物理学校は、真に実力を付けた者しか卒業させなかったもので、「実力主義」の学校として定評があり、今日でもその伝統を受け継いでいます。

第二次世界大戦後に行われた学制改革に伴って、「東京物理学校」は「東京理科大学」となり、理学部だけでなく薬学部、工学部など多くの学部・学科が新設され、また、大学院研究科も設置されて、今日では大学では8学部33学科、大学院では11研究科31専攻という私学屈指の理工系総合大学として発展してきました。東京理科大学となってからも多くの優れた教員を輩出し、今日も全国の高等学校などで教鞭をとっていますが、同時に18万人にのぼる卒業生は科学者、研究者および技術者として日本はもとより、世界各地で活躍されています。本日、皆さんは、このような輝かしい本学の歴史を受け継ぐ主役となったのです。ぜひとも悔いのない有意義な大学生活になるよう努力してください。私たち教職員も熱意をもって授業をし、実験を指導します。皆さんもぜひ自らを更に高めるように努力し、本当の実力を付けてください。

今日、世界的に環境と経済とエネルギー——Environment・Economy・Energyといういわゆる3E問題解決に、いかに貢献するか命題に直面しており、これらの解決の要は、たゆまぬ技術革新と、その成果の社会経済的価値化、つまりイノベーションの実現に向けてまい進することにあります。環境をはじめ、世界



第一人者を目指して」

学長

藤嶋 昭



の国々が協調、協力して取り組むべき地球規模の問題はますますその深刻さを増しています。一方、資源、エネルギー、食糧などの国際的な獲得競争が激化し、中長期的に世界の経済成長にひずみをもたらすとともに、世界経済と政治の不安定化をもたらすことが懸念されています。

特にわが国は、世界のこのような変化に加え、少子高齢化や人口減少等の社会的、経済的活力の減退につながる問題にも直面しています。国民一人当たりGDPの国際的な順位も低下しています。天然資源に乏しいわが国にとって、科学技術と人材こそが資源であります。

先ほどは、Environment・Economy・Energyという3つのE、3E問題をお話しましたが、次に、3Fということをお願いしたいと思います。Fで始まる3つの英語の単語を考えてみてください。今度は「3E問題」ではなく、3Fとしての目標です。最初のFはFightです。何事もFightをもって行動してほしいものです。二番目のFはFairです。公平・公正な立場、Fairな立場で物事に当たってほしいものです。特にスポーツにはFightをもってFairに行くことは基本です。そして三つ目のF、これはすぐには出てこない英語の単語です。FightをもってFairに、そして三番目のFは何でしょうか。

それは第一人者、第一級の人になってほしいというもので、Firstです。ぜひ学生としてあるいは課外活動等でも、もちろん人間としてFirstな人になっていただきたい

と思います。特に最後のFirstが重要です。人間としても第一人者を目指してほしいのです。そのために東京理科大学では「実力主義」を掲げ、指定した科目を充足しなければ進級できない、厳しい「関門科目」制度を設けています。これは、学生を真剣に育てる制度と言えます。また、人間としてのFirstを目指すために、初年次から大学院課程を含めて、教養教育を重視したカリキュラムを組むとともに、各界のFirst第一人者による講演なども計画しています。

さらに「総合研究機構」を中心に、世界レベルの拠点を目指した研究を推進しています。グローバルCOEプログラムに採択された火災科学研究センターをはじめ、積極的な産学連携を行いながら成果を挙げています。さらに海外から若手研究者を招いて共同研究を推進するなど学部や大学院を含め、より一層の国際化を図ります。

来春には、新たに「葛飾キャンパス」を開設し、4学部9学科が移転するとともに、各種研究センター、共同研究設備を整備し、先端融合分野の国際的な拠点にしたいと考えています。

皆さんは、これから本学での授業を受け、また実験をとおして、専門的な知識を身に付けていきます。この勉学こそ一番重要なことですが、この勉学以外にも少なくともさらに一つのことを加えてもらえればと思います。

スポーツや文化系のクラブ活動にもぜひ積極的に参

加してください。あるいは夢中になって英語などの語学の力を付けるのもよいと思います。専門以外のことを少なくとも一つは実行するように努めてください。それによりさらにクラスでの友人とは違う考えの友だちを持つことができ、ちがう視点でのものの考え方を身に付けることができると思います。このときの友達こそ一生の友人になるものです。

いろいろ要望を申し上げましたが、それらの中の共通のキーワードは「実行する」ということです。これから過ごす大学生活で、さまざまな、多くの体験を通して、トータルに人間的な成長をとげていただきたいと願います。新入生の皆さんがこれから本学で過ごす年月は、長いようでもあとから振り返ってみると短いものです。

東京理科大学の初代学長の本多光太郎先生は「今が大切」ということをモットーとしていました。一日、一日を大切に過ごすが、皆さんの人生を豊かにするものと信じます。

あらためて入学、進学した皆さんの門出をお祝いし、物事を楽天的、前向きに考えるプラス思考で、皆さんの最も輝かしい青春のこの時期を思う存分満喫し、悔いのない学生生活を送っていただくことを願っています。

以上式辞を申し上げます。

平成24年4月9日 東京理科大学長 藤嶋 昭

Finance

平成24年度
予算

本法人は、教育・研究環境の改善に向け、ゆとりあるキャンパス整備に取り組んでいます。平成24年度は、野田・神楽坂キャンパスの整備に続き、葛飾校舎の建設工事を完了し、平成25年4月の新キャンパス開設に向けて準備を進めていくことになります。

平成24年度予算は、これらの事業計画および健全経営の理念に基づき、次のことを重点項目として盛り込みました。

1. 葛飾校舎建築計画
- ① 葛飾校舎新築工事費
- ② 葛飾校舎備品等購入費
- ③ 葛飾校舎引っ越し費用等
2. 葛飾校舎建築の支払資金とするため、葛飾校舎建築引当特定資産と葛飾施設設備整備引当特定資産を充当するとともに、借入を行います。
3. 野田キャンパスにおける（仮称）光触媒総合システム研究センター棟新築工事にかかわる経費を予算措置し、工事費の財源として、将来事業引当特定資産を充当します。
4. 山口・諏訪校舎の改修工事費を予算措置し、工事費の財源として、減価償却引当特定資産を充当します。
5. 平成23年度に引き続き、東日本大震災に伴う経済支援を行います。

6. 研究開発プロジェクト
- 〔新規〕
- ① 火災科学研究センター
- ② キラリティー研究センター
- ③ 創薬フロンティア科学研究センター
- 〔継続〕
- ① 界面科学研究センター
- ② がん医療基盤科学技術研究センター
- ③ グリーン&セーフティ研究センター
- ④ 戦略的物理製剤学研究基盤センター
- ⑤ RNA科学総合研究センター
- ⑥ 戦略的環境次世代健康科学研究基盤センター
- ⑦ 先端ホログラフィ技術研究開発センター
- 上記経費を文部科学省が行う「戦略的研究基盤形成支援事業」の対象経費とし、研究設備整備費等補助金および經常費補助金(特別補助)を予算措置します。

7. 減価償却引当特定資産に新たに繰入れを行います。
- なお、資金収支予算書における前年度繰越支払資金および消費収支予算書における前年度繰越消費支出超過額は、平成23年度決算確定前の予算額に基づいています。（詳細は、7月ごろ本学ホームページに掲載予定。）

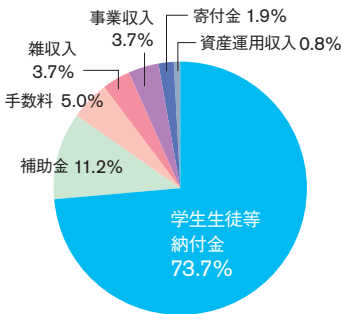
●資金収支予算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

収入の部		(単位：千円)
科目	24年度予算額	
学生生徒等納付金収入	26,078,543	
授業料収入	16,882,291	
入学金収入	2,726,970	
実験実習料収入	1,553,142	
施設設備資金収入	4,916,140	
手数料収入	1,758,467	
入学検定料収入	1,712,267	
試験料収入	8,100	
証明手数料収入	17,300	
大学入試センター試験実施手数料収入	20,800	
寄付金収入	329,000	
特別寄付金収入	329,000	
補助金収入	3,983,956	
国庫補助金収入	3,672,149	
地方公共団体補助金収入	308,307	
学術研究振興資金収入	500	
その他の補助金収入	3,000	
資産運用収入	275,450	
第3号基金金運用収入	25,000	
受取利息・配当金収入	200,000	
施設設備利用料収入	50,450	
事業収入	1,326,801	
受託事業収入	1,165,310	
知的財産権実施料等収入	34,300	
公開講座受講料収入	119,320	
免許状更新講習料収入	7,871	
雑収入	1,313,528	
入学要項売上収入	11,800	
私立大学退職金財団交付金収入	974,828	
その他の雑収入	326,900	
借入金等収入	6,000,000	
長期借入金収入	6,000,000	
前受金収入	17,137,822	
授業料前受金収入	9,102,576	
入学金前受金収入	2,744,514	
実験実習料前受金収入	554,472	
施設設備資金前受金収入	4,545,620	
その他の前受金収入	190,640	
その他の収入	6,937,404	
退職給与引当特定資産からの繰入収入	931,660	
葛飾校舎建築引当特定資産からの繰入収入	3,000,000	
減価償却引当特定資産からの繰入収入	400,000	
葛飾施設設備整備引当特定資産からの繰入収入	1,200,000	
将来事業引当特定資産からの繰入収入	190,000	
前期末未収入金収入	972,430	
貸付金回収収入	234,990	
保証金回収収入	8,324	
資金収入調整勘定	△18,389,655	
期末未収入金	△1,167,087	
前期末前受金	△17,222,568	
前年度繰越支払資金	40,392,109	
収入の部合計	87,143,425	

支出の部		(単位：千円)
科目	24年度予算額	
人件費支出	17,225,498	
教員人件費支出	10,459,300	
職員人件費支出	5,254,672	
役員報酬支出	158,402	
退職金支出	1,353,124	
教育研究経費支出	9,756,056	
消耗品費支出	2,200,321	
光熱水費支出	1,270,702	
旅費交通費支出	679,003	
奨学費支出	430,700	
福利厚生費支出	87,275	
通信運搬費支出	123,282	
印刷費支出	305,503	
広告費支出	1,292	
会議費支出	5,637	
賃借料支出	613,156	
修繕費支出	788,306	
諸会費支出	104,507	
公租公課支出	462	
報酬・委託・手数料支出	1,966,035	
保守料支出	339,786	
資料費支出	739,766	
雑費支出	100,323	
管理経費支出	3,201,526	
消耗品費支出	55,021	
光熱水費支出	140,103	
旅費交通費支出	61,889	
福利厚生費支出	51,009	
通信運搬費支出	107,133	
印刷費支出	127,158	
保険料支出	20,131	
広告費支出	290,981	
渉外・会議費支出	14,479	
賃借料支出	169,376	
修繕費支出	55,455	
諸会費支出	16,902	
公租公課支出	157,972	
報酬・委託・手数料支出	1,590,850	
保守料支出	174,092	
資料費支出	22,427	
入学検定料免除額支出	16,374	
公共施設寄付金支出	71,200	
雑費支出	58,974	

支出の部		(単位：千円)
科目	24年度予算額	
借入金等利息支出	301,394	
借入金利息支出	301,394	
借入金等返済支出	138,880	
借入金返済支出	138,880	
施設関係支出	16,594,326	
建物支出	15,855,643	
構築物支出	18,683	
建設仮勘定支出	720,000	
設備関係支出	5,293,536	
教育研究用機器備品支出	4,640,126	
その他の機器備品支出	534,765	
図書支出	114,645	
車輛支出	4,000	
資産運用支出	2,158,025	
退職給与引当特定資産への繰入支出	931,660	
施設拡充引当特定資産への繰入支出	226,365	
減価償却引当特定資産への繰入支出	1,000,000	
その他の支出	2,112,852	
貸付金支払支出	334,640	
前期末未払金支払支出	1,564,212	
前払費用支出	214,000	
予備費	300,000	
資金支出調整勘定	△2,149,263	
期末未払金	△1,923,263	
前期末前払費用	△226,000	
次年度繰越支払資金	32,210,595	
支出の部合計	87,143,425	

〈平成24年度帰属収入の内訳〉



学費

平成25年度の
新入学生に
対する学費改定

私学の財源はその大部分を学生納付金収入と補助金収入に依存しています。本学では財政基盤を安定化させるため、科学研究費補助金等の外部資金獲得など積極的に収入増を図る努力をしていますが、現状では学生納付金収入は、帰属収入の63.0%（平成22年度）を占め、本学の財政の基礎を成す最も重要な収入です。

本学では、創立125周年記念事業の一環として行ってきた神楽坂校舎および野田校舎の再構築事業が平成23年度に終了し、平成25年度には葛飾キャンパスを開設するなど、教育・研究環境の整備、施設・設備の拡充を図っています。

つきましては、平成25年度の新入学生に対する学費は、【表1～6】のとおり、次の主な項目を盛り込んだ改定を行います。

1. 東京理科大学理学部第一部、理学部第二部、工学部第一部、工学部第二部および基礎工学部の施設設備費を増額改定すること。
2. 東京理科大学大学院、山口東京理科大学大学院および諏訪東京理科大学大学院の施設設備費を増額改定すること。なお、大学院の施設設備費は、初年度のみ徴収していたが、学部と同様に毎年度徴収する方法に改める。
3. 東京理科大学大学院および山口東京理科大学大学院の入学金を増額改定して、各大学の学部入学金と同額にすること。

以上の改定の結果、平成25年度の学生納付金収入は、据え置いた場合と比較して7,351万円の増収となります。また大学院の施設設備費の2年次徴収が開始される平成26年度の学生数を平成25年度（予想値）と同数として試算した場合、平成26年度の学生納付金収入は3億5,140万円の増収が見込まれることになります。

※今回の学費改定は平成25年度の入学生を対象に行われるもので、在学生の学費は改定されません。

【表1】平成25年度 東京理科大学 初年度納付金

(単位：円)						
学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	合計
理学部第一部	数学科	300,000	825,000	300,000	0	1,425,000
	数理情報科学科				10,000	1,435,000
	物理学科				60,000	1,485,000
	応用物理学科					
	化学科				67,000	1,492,000
薬学部	薬学科(6年制)	300,000	1,400,000	550,000	95,000	2,345,000
	生命創薬科学科				95,000	1,945,000
工学部第一部	建築学科	300,000	825,000	300,000	60,000	1,485,000
	経営工学科				86,000	1,511,000
	工業化学科				75,000	1,500,000
	電気工学科					
	機械工学科					
理工学部	数学科	300,000	825,000	300,000	38,000	1,463,000
	物理学科				60,000	1,485,000
	建築学科					
	経営工学科				79,000	1,504,000
	情報科学科				86,000	1,511,000
	応用生物科学科				92,000	1,517,000
	土木工学科				75,000	1,500,000
	工業化学科				87,000	1,512,000
	電気電子情報工学科				75,000	1,500,000
基礎工学部	電子応用工学科	300,000	825,000	350,000		
	材料工学科				75,000	1,550,000
	生物工学科					
経営学部	経営学科	300,000	720,000	230,000	34,000	1,284,000
理学部第二部	数学科	150,000	530,000	150,000	0	830,000
	物理学科				49,000	879,000
	化学科				60,000	890,000
工学部第二部	建築学科	150,000	510,000	150,000	60,000	870,000
	経営工学科				75,000	885,000

○2年次以降の授業料および施設設備費は、1年次と同額である。
○2年次以降の実験実習費は、学部・学科により異なることがある。
また、表中の実験実習費の他に卒業研究費、選択科目実験実習費等を履修に応じて別途徴収することがある。
○薬学部薬学科の長期実務実習費は、履修時にその一部を別途徴収することがある。
○上記のほか、学生傷害共済補償費および父母会費を徴収する。

【表2】平成25年度 東京理科大学大学院 初年度納付金

(単位：円)						
研究科	専攻	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	合計
理学研究科	数学専攻	300,000	700,000	180,000	40,500	1,220,500
	物理学専攻				81,000	1,261,000
	数理情報科学専攻				149,000	1,329,000
	応用物理学専攻				81,000	1,261,000
					149,000	1,329,000
総合化学研究科	総合化学専攻	300,000	700,000	180,000	164,000	1,344,000
科学教育研究科	科学教育専攻	300,000	700,000	180,000	81,000	1,261,000
					149,000	1,329,000
薬学研究科	薬学専攻	300,000	700,000	180,000	165,000	1,345,000
工学研究科	建築学専攻	300,000	700,000	180,000		
	電気工学専攻				149,000	1,329,000
	経営工学専攻					
	機械工学専攻					
理工学初級科	数学専攻	300,000	700,000	180,000	81,000	1,261,000
	物理学専攻				103,000	1,283,000
	情報科学専攻				149,000	1,329,000
	建築学専攻					
	電気工学専攻				149,000	1,329,000
	経営工学専攻					
	機械工学専攻					
	土木工学専攻					
	応用生物科学専攻					
基礎工学研究科	電子応用工学専攻	300,000	700,000	180,000	149,000	1,329,000
	材料工学専攻				164,000	1,344,000
経営学研究科	経営学専攻	300,000	640,000	80,000	20,000	1,040,000
生命科学研究科	生命科学専攻	300,000	700,000	180,000	165,000	1,345,000
国際火災科学研究科	火災科学専攻	300,000	700,000	180,000	149,000	1,329,000
イノベーション研究科	技術経営専攻	300,000	1,120,000	300,000	—	1,720,000
	知的財産戦略専攻	300,000	1,120,000	300,000	—	1,720,000
	イノベーション専攻	300,000	1,120,000	300,000	—	1,720,000

(注) 1. 理学研究科数理情報科学専攻博士後期課程の実験実習費は半額とする。2. 理学研究科物理学専攻、応用物理学専攻、科学教育研究科科学教育専攻および理工学研究科物理学専攻の実験実習費欄の上段は理論系、下段は実験系を表す。3. 科学教育研究科科学教育専攻の修士2年次学費は、履修形態により異なる。

○2年次以降の授業料、施設設備費および実験実習費は1年次と同額である。
○上記のほか、学生傷害共済補償費を徴収する。
○学校法人東京理科大学の設置する大学を卒業または修了し、東京理科大学大学院に進学する者は、下表の免除制度が適用される。

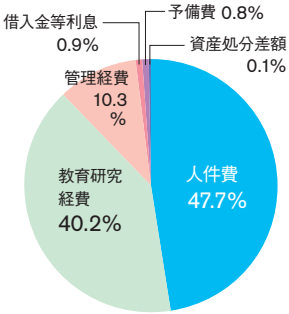
	修士	博士
入学金	半額免除	全額免除
施設設備費	半額免除 ※イノベーション研究科は除く	全額免除 ※イノベーション研究科においては同修士課程出身者のみ対象
実験実習費	-	半額免除

○博士後期課程入学者（薬学研究科薬学専攻は博士課程入学者）を対象に、学業優秀と認められた者の授業料を半額免除とする制度がある。

●消費収支予算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

消費収入の部 (単位：千円)		消費支出の部 (単位：千円)	
科目	24年度予算額	科目	24年度予算額
学生生徒等納付金	26,078,543	人件費	16,869,026
授業料	16,882,291	教員人件費	10,459,300
入学金	2,726,970	職員人件費	5,254,672
実験実習料	1,553,142	役員報酬	158,402
施設設備資金	4,916,140	退職金	528,048
手数料	1,758,467	退職給与引当金繰入額	468,604
入学検定料	1,712,267	教育研究経費	14,230,342
試験料	8,100	消耗品費	2,200,321
証明手数料	17,300	光熱水費	1,270,702
大学入試センター試験実施手数料	20,800	旅費交通費	679,003
寄付金	659,000	奨学金	430,700
特別寄付金	329,000	福利厚生費	87,275
現物寄付金	330,000	通信運搬費	123,282
補助金	3,983,956	印刷費	305,503
国庫補助金	3,672,149	広告費	1,292
地方公共団体補助金	308,307	会議費	5,637
学術研究振興資金	500	賃借料	613,156
その他の補助金	3,000	修繕費	788,306
資産運用収入	275,450	諸会費	104,507
第3号基本金運用収入	25,000	公租公課	462
受取利息・配当金	200,000	報酬・委託・手数料	1,966,035
施設設備利用料	50,450	保守料	339,786
事業収入	1,326,801	資料費	739,766
受託事業収入	1,165,310	雑費	100,323
知的財産権実施料等収入	34,300	減価償却額	4,474,286
公開講座受講料収入	119,320	管理経費	3,654,752
免許状更新講習料収入	7,871	消耗品費	55,021
雑収入	1,313,528	光熱水費	140,103
入学要項売上収入	11,800	旅費交通費	61,889
私立大学退職金財団交付金	974,828	福利厚生費	51,009
その他の雑収入	326,900	通信運搬費	107,133
帰属収入合計	35,395,745	印刷費	127,158
基本金組入額合計	△10,234,573	保険料	20,131
消費収入の部合計	25,161,172	広告費	290,981
		渉外・会議費	14,479
		賃借料	169,376
		修繕費	55,455
		諸会費	16,902
		公租公課	157,972
		報酬・委託・手数料	1,590,850
		保守料	174,092
		資料費	22,427
		入学検定料免除額	16,374
		公共施設寄付金	71,200
		雑費	58,974
		減価償却額	453,226
		借入金等利息	301,394
		借入金利息	301,394
		資産処分差額	16,264
		不動産処分差額	16,264
		予備費	300,000
		消費支出の部合計	35,371,778
		当年度消費支出超過額	10,210,606
		前年度繰越消費支出超過額	5,810,284
		翌年度繰越消費支出超過額	16,020,890

〈平成24年度消費支出の内訳〉



〔表3〕平成25年度 山口東京理科大学 初年度納付金 (単位：円)

学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	合計
工学部	機械工学科	290,000	804,000	200,000	1,294,000
	電気工学科				
	応用化学科				

○2年次以降の授業料および施設設備費は1年次と同額である。
○上記のほか、学生傷害共済補償費を徴収する。

〔表4〕平成25年度 山口東京理科大学大学院 初年度納付金 (単位：円)

学部	専攻	入学金	授業料	施設設備費	合計
基礎工学研究科	基礎工学専攻	290,000	849,000	150,000	1,289,000

○2年次以降の授業料および施設設備費は1年次と同額である。
○上記のほか、学生傷害共済補償費を徴収する。
○学校法人東京理科大学の設置する大学を卒業または修了し、山口東京理科大学大学院に進学する者は、下表の免除制度が適用される。

	修士	博士
入学金	半額免除	全額免除
施設設備費	半額免除	全額免除

○博士後期課程入学者を対象に、学業等優秀と認められた者の授業料を半額免除とする制度がある。

〔表5〕平成25年度 諏訪東京理科大学 初年度納付金 (単位：円)

学部	学科	入学金	授業料	施設設備費	合計
システム工学部	電子システム工学科	280,000	870,000	260,000	1,410,000
	機械システム工学科				
経営情報学部	経営情報学科	280,000	740,000	200,000	1,220,000

○2年次以降の授業料および施設設備費は1年次と同額である。
○上記のほか、学生傷害共済補償費を徴収する。

〔表6〕平成25年度 諏訪東京理科大学大学院 初年度納付金 (単位：円)

学部	専攻	入学金	授業料	施設設備費	合計
工学・マネジメント研究科	工学専攻	280,000	800,000	150,000	1,230,000
	修士				
	博士		600,000	112,500	992,500
	標準履修・3年				
	博士				
	長期履修・4年		480,000	90,000	850,000
	博士				
	長期履修・5年				

○2年次以降の授業料および施設設備費は1年次と同額である。
○上記のほか、学生傷害共済補償費を徴収する。
○学校法人東京理科大学の設置する大学を卒業または修了し、諏訪東京理科大学大学院に進学する者は、下表の免除制度が適用される。

	修士	博士
入学金	半額免除	全額免除
施設設備費	半額免除	全額免除

○博士後期課程入学者を対象に、学業等優秀と認められた者の授業料を半額免除とする制度がある。
○長期履修制度適用者で在学期間を短縮した場合は、修了年数に応じた標準履修者授業料総額と既納入額との差額を徴収する。また、認められた履修期間を超えて在籍する場合の授業料は、標準履修者授業料と同額とする。



平成24年度事業計画が決定

3. 管理・運営

●役員・評議員の改選

平成24年12月に理事および評議員が4年間の任期満了を迎えるにあたり、寄附行為に則り改選を行う。

●平成25年度の認証評価受審に向けた準備

本学は平成25年度に(財)大学基準協会にて、機関別認証評価と専門職大学院(MOT)の分野別認証評価を受審することになっている。平成24年度は、認証評価受審のための準備を進める。

●産学官連携活動の強化

① 研究戦略・企画にかかわる新組織体制の構築

平成25年度葛飾キャンパス開設に伴い、科学技術交流センター(承認TLO)の在り方を含めて、現行体制の抜本的見直しを展開する。

② 葛飾区地元企業とのネットワークの構築

葛飾キャンパス開設に伴い葛飾区との産学公連携活動を強化するため、葛飾専属のコーディネーターを配置し、地元企業とのネットワークを構築する。

●葛飾キャンパス開設に向けた事務組織再編

葛飾キャンパス開設に併せて事務組織再編を円滑に行うよう準備を進める。

4. 山口東京理科大学

●大学院の教育研究体制の整備

平成25年4月に基礎工学研究科の名称を工学研究科に変更するための届出を行い、必要な教育体制の整備を進める。

●資格取得支援体制の整備

① 教職課程設置に向けた準備

工学部において、平成25年度の教職課程設置を目指し準備を進める。

② 電気主任技術者資格取得のための課程設置に向けた準備

電気工学科の所定の科目を履修することおよび一定の実務経験を積むことで、国家資格が取得できるよう、経済産業省への学校認定申請を行っている。

●就業力育成・就職支援体制の強化

文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に申請し、就業力育成への取り組みをさらに発展させるための検討を行う。

●国際化の推進

平成24年度から外国人留学生を本格的に受け入れることに伴い、留学生の満足度を高める質の高い教育を行うとともに、大学全体の国際化を推進する。

●地域との連携強化

山口県立大学・山口学芸大学との連携事業を継続し、講義の開講や各種事業などを通じて地域社会との連携強化を図る。

5. 諏訪東京理科大学

●工学・マネジメント研究科博士後期課程の設置

高度な職業人の養成と、国際的にも活躍できる素養を身に付けた人材を養成して、当該地域の活性化に一層の貢献をするため、「工学・マネジメント研究科博士後期課程」を平成24年4月に設置する。

●学生サポート体制の充実

① 学習支援体制の充実

学習支援室相談員の相談時間帯を増加させるとともに、学生の主体的な学びを積極的に支援する取り組みを進める。

② 就職支援の強化

学生個々に対する支援を強化するとともに、学生が学外でインターンシップや企業研究等を円滑に行えるよう、地元企業、商工会議所との連携を強化する。

③ 外国人留学生を対象とした日本語授業科目の新設

外国人留学生を対象とする日本語授業科目を開設する。日本語を十分に理解できる外国人留学生を育成し、長野県内を中心とした企業への就職を推進する。

●産学公連携の推進

① 産学連携コーディネーターの配置

本学の科学技術交流センターに地域企業に精通したコーディネーターを配置し、地域企業のニーズに合った事業が展開できる体制の強化を図る。

② 茅野市との連携強化

茅野市との包括協定に基づき、環境未来都市を目指した研究会と災害時の連携に積極的に取り組んでいく。

学校法人東京理科大学では、私立学校法の定めにより、毎年度作成する「事業計画」について、評議員会の意見を聴いておりますが、このたび「平成24年度事業計画(案)」に対し同意の議決が得られ、理事会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

1. 教育・研究

●薬学部薬学科の入学定員変更

平成25年4月に入学定員を80名から100名に変更する検討を進める。

●大学院の設置および入学定員変更

① 薬学研究科薬学専攻博士課程および薬科学専攻博士後期課程の設置

薬学研究科に「薬学専攻博士課程」、および「薬科学専攻博士後期課程」を平成24年4月に設置する。

② 国際火災科学研究所火災科学専攻博士後期課程の設置

国際火災科学研究所に「火災科学専攻博士後期課程」を平成24年4月に設置する。

③ 理学研究科・総合化学研究科・基礎工学研究科の入学定員変更

理学研究科物理学専攻修士課程、同研究科数理情報科学専攻修士課程、総合化学研究科総合化学専攻修士課程および基礎工学研究科材料工学専攻修士課程の入学定員を平成24年4月に増員する。

●生命科学研究所の名称変更

研究所の方向性を明確にするため、平成24年4月に生命科学研究所を「生命医科学研究所」へ名称を変更する。

●情報科学教育・研究機構の機能の移管および廃止

情報科学教育・研究機構にある情報科学教育センターおよびバイオインフォマティクス教育センターを統合し、情報教育センターへ名称変更して総合教育機構に移管するとともに、従来の情報科学教育・研究機構は廃止する。

●国際化の推進

インフラの整備を進めるとともに、①教員の国際化、②学生の国際化、③基盤整備に取り組む。

●東日本大震災において被災した学生への経済的支援

① 受験生および入学生に対する経済的支援

平成24年度入学試験において、東日本大震災により災害救助法が適用された地域に居住する受験生に対し、入学検定料を免除する。また、当該受験生が本学に入学する場合、被災の状況等に応じて、初年度納付金等を減免する。

② 在学生に対する経済的支援

災害救助法が適用された地域に居住する在学生およびその家計支持者に対し、被災の状況等に応じて、学費等の全額または一部を免除する。

③ 学生生活の支援を目的とする給付制奨学金制度

災害救助法が適用された地域に居住する在学生およびその家計支持者に対し、被災状況に合わせて80万円を上限として奨学金を給付する。

●将来構想の検討

学長・理事長合同諮問委員会として「学部編成等検討委員会」を設置し、東京理科大学の将来構想に関する検討を進め、平成24年12月までに答申を出す予定である。

2. 施設設備

●葛飾キャンパスの建設

平成25年4月に開設する葛飾キャンパスは、「学園パーク型キャンパス」として平成25年2月に竣工予定である。

●神楽坂地区再構築

神楽坂キャンパス4号館(若宮校舎)は改修を行い、総合教育機構および大学院科学教育研究科の関連施設として平成25年4月からの利用を計画している。

●(仮称)光触媒総合システム研究センター棟の建設

野田キャンパス敷地内に、(仮称)光触媒総合システム研究センター棟を建設する。平成25年3月の竣工予定である。

●施設の賃貸による収益事業の導入

神楽坂キャンパスの「PORTA神楽坂」の1階および地下1階については、本学が所有する区画を店舗として賃貸する予定である。

People

2012 SPRING

中西教授に名誉教授称号

東京理科大学は、長年にわたり
本学の教育・研究の発展に尽力され、
多くの功績を挙げられた中西先生に
名誉教授の称号を授与しました。

中西久幸先生は、昭和43年に理工学部助手に着任され、平成4年4月に教授となり、学科主任、学科幹事、研究科委員会委員、研究科幹事等を歴任されました。
ご専門の分野は多元系化合物半導体における新機能性素材を主とする半導体工学であり、93報の査読付英文原著論文を発表されました。特に、先生が作製されたスピネル型化合物半導体やカルコパイライト型化合物半導体のバルク結晶品質は非常に高く、その試料評価によって得られた電気物性・光学物性値は、現在もこの分野の標準値になっているなど、国内外の研究機関から高く評価されています。



理工学部教授
中西 久幸 なかにし ひさゆき

新研究科長就任

平成24年4月1日付で、
国際火災科学研究所科長に
工学部第二部建築学科の辻本誠教授が
就任しました。



新任職員

4月1日付で
新採用の
職員13人を
紹介します



●神楽坂キャンパス

人事課・大曾根奈帆
経理課・五味愛美
管財課（神楽坂）・木岡直也
学務課・鈴木英路
工学事務課・溝口美里

●野田キャンパス

管財課（野田）・鎌田衛紀
学生課（野田）・和泉一義
研究事務課・大宮麻比古
学務課（野田）・関村博道
薬学事務課・池田華子
理工学事務課・一由悠太
基礎工学事務課・金子千夏

●諏訪東京理科大学

諏訪東京理科大学事務部・久保田帆斗

定年
退職

長年にわたり本学の教育・研究、事務に尽力された30氏が
平成24年3月31日付で定年を迎えられました。

- 理一：数学・岡睦雄教授
数学・印牧尚次助教
数情・森田昌宏教授
- 工一：工化・田中龍彦教授
機工・金子堅司教授
- 工二：経工・野口幸雄教授
- 薬学：薬学・鈴木潤三教授
武田健教授
砂金信義教授
生創・増保安彦教授
- 理工：教養・川村清教授
数学・田中隆一教授
情科・大矢雅則教授
宮沢政清教授
工化・阿部憲孝教授
小中原猛雄教授
電電・竹中正教授
土木・内山久雄教授

- 基工：電応・羽田野甫教授
生物・千葉文教授
- 経営：齊藤進教授
- 山口：応用化・竹永満教授
- 諏訪：共通教育センター・藪康彦講師
- 事務総局：木村悦郎・野田キャンパス担当局長
長澤壽一・葛飾キャンパス担当局長
後藤邦夫・総合情報システム部長（選任定年）
山下輝雄・募金事業事務室長
笠原幸子・保健管理センター野田分室主任
酒井法子・基礎工学事務課主任（選任定年）
芦谷ちづ子・工学事務課

悼

田幸敏治 元教授（理工学部物理学科）
平成23年12月24日逝去されました。88歳。

吉澤晋 元教授（工学部第一部建築学科）
平成24年3月8日逝去されました。81歳。

木練透 教授（山口東京理科大学工学部応用化学科）
平成24年3月8日逝去されました。54歳。

新任教員18氏紹介

①最終学歴 ②前歴
③専門分野 ④学位



【理学部第一部】
数学科／准教授
太田 雅人
おおた・まさひと

①東京大学大学院数理科学研究科博士課程修了②埼玉大学大学院理工学研究科准教授③非線形偏微分方程式論④博士（数理科学）



【理学部第二部】
数学科／講師
坊向 伸隆
ぼうむき・のぶたか

①島根大学大学院総合理工学研究科博士課程修了②大阪市立大学数学研究所専任研究員③幾何学、等質空間論④博士（理学）



【工学部第一部】
教養／講師
北 和丈
きた・かずたけ

①東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了②新潟青陵大学短期大学部専任助教③応用言語学④博士（学術）



【薬学部】
薬学科／教授
花輪 剛久
はなわ・たけひさ

①千葉大学大学院薬学研究科修了②山梨大学准教授・医学部附属病院 副薬剤部長③医療薬学、製剤工学、臨床製剤学④博士（薬学）



【薬学部】
生命創薬科学科／教授
後藤 了
ごとう・さとる

①徳島大学大学院薬学研究科博士後期課程修了②国際医療福祉大学薬学部薬学科准教授③創薬資源情報学、生物物理化学④博士（薬学）



【薬学部】
生命創薬科学科／准教授
秋本 和憲
あきもと・かずのり

①東京理科大学大学院薬学研究科博士課程修了②横浜市立大学医学部分子生物学教室助教③幹細胞腫瘍学④博士（薬学）



【理工学部】
教養／講師
佐藤 憲一
さとう・けんいち

①筑波大学大学院人文社会科学研究科②前橋国際大学講師③初期近代トランスアトランティック文学④博士（文学）



【理工学部】
数学科／教授
松本 和子
まつもと・かずこ

①奈良女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了②大阪府立大学高等教育推進機構准教授③数学（多変数関数論）④学術博士



【理工学部】
土木工学科／教授
菊池 喜昭
きくち・よしあき

①東京理科大学大学院修士課程修了②独立行政法人港湾空港技術研究所特別研究官③地盤工学、地盤力学④博士（工学）



【イノベーション研究科】
知的財産戦略専攻／教授
宮武 久佳
みやたけ・ひさよし

①一橋大学大学院国際企業戦略研究科修士課程修了②横浜国立大学留学生センター教授③知的財産論、メディア・コミュニケーション論④修士（経営法）



【諏訪東京理科大学システム工学部】
機械システム工学科／准教授
河合 浩志
かわい・ひろし

①東京大学工学系研究科博士課程修了②東京大学工学系研究科システム創成学専攻主任研究員③計算力学④博士（工学）



【諏訪東京理科大学】
共通教育センター／講師
櫻井 哲朗
さくらい・てつろう

①中央大学大学院理工学研究科博士後期課程修了②筑波大学大学院ビジネス科学研究科助教③統計科学④博士（理学）



入試

一般入学試験、5年連続で志願者が5万人超

本学の平成24年度一般入学試験（B方式、C方式）は、2月3日（金）の経営学部B方式から始まり、3月24日（土）の工学部第二部C方式まで全ての日程が終了しました。今年度は寒波による雪などの影響が心配されましたが、全日程とも滞りなく実施されました。

本年度の一般入学試験（A方式・B方式・C方式）の志願者数は5万1,772人となり、5年連続で志願者が5万人を超えました。

入試形態別にみると、A方式が1万5,002人（前年度比861人減）、B方式が3万3,151人（前年度比393人増）、C方式が3,619人（前年度比132人増）となり、前年度1000人以上志願者が増加したA方式で今年度は減少したものの、B方式、C方式では昨年に引き続き志願者が増加しました。

今年度は経済が低迷を続ける中で発生した東日本大震災の影響により志願者の動向は「地元志向」「国公立志望」が昨年以上に高まることが予

想されていましたが、本学では東日本大震災の被害状況等にかんがみ、災害救助法適用地域の被災者が大学進学を断念しないよう入学検定料を免除する経済的支援措置を講じたところ、東北地方からの志願者は平年並みを維持しました。

長引く経済不況により大学生の就職が困難を極める中で、受験生の志望大学の決定には「就職に強い大学」であることがポイントの一つとなっています。本学では設立以来「真に実力を付けた学生のみを卒業させる」という「実力主義」の伝統が130余年を経た今でも脈々と受け継がれています。実力を付けた本学の卒業生は各方面で活躍しており、卒業時の質の高さが社会からも評価され、「就職に強い大学」として認知されていることが、志願者数の維持・増加につながっているものと考えられます。

今後も全国からの優秀な受験生獲得を目指した広報活動を行っていくことが重要です。

歴史を塗り替える新しい力に



【工学部第一部】
工業化学科／講師

国村 伸祐

くにむら・しんすけ

①京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了②独立行政法人理化学研究所 基礎科学特別研究員③分析化学④博士(工学)



【工学部第二部】
経営工学科／教授

宮部 博史

みやべ・ひろし

①東北大学大学院工学研究科博士課程後期課程修了②独立行政法人情報通信研究機構理事③ソフトウェア工学、ネットワークアーキテクチャ、最適システム設計法④工学博士



【理工学部】
教養／教授

柏崎 敏義

かしわぎ・としよし

①明治大学大学院法学研究科博士後期課程修了②関東学院大学大学院法務研究科③憲法学④法学修士



【理工学部】
教養／講師

坂本 徳仁

さかもと・のりひと

①一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了②一橋大学大学院経済学研究科特任講師③厚生経済学、社会選択理論④博士(経済学)



【基礎工学部】
電子応用工学科／講師

甲斐 健也

かい・たつや

①東京大学大学院新領域創成科学研究科博士後期課程修了②九州大学大学院システム情報科学研究院電子システム工学部門助教③制御工学、ロボティクス④博士(科学)



【イノベーション研究科】
知的財産戦略専攻／教授

荻野 誠

おぎの・まこと

①筑波大学大学院修士課程経営・政策科学研究科修了②(株)日立国際電気知的財産権本部長③企業の知的財産活用戦略④修士(法学)

維持拡充資金(第二期) 寄付者芳名

「維持拡充資金(第二期)」にご賛同いただき、ご寄付をたまわった方々のご芳名を掲載します。

今回は、2011年11月1日～2012年1月31日までにご入金いただいた分です。ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきました。なお、累計は維持拡充資金(第二期)の寄付額です。

【個人】

〈同窓生〉

◇金5,000,000円
森野 義男 様
(累計金40,000,000円)
◇金3,000,000円
横田 誠 様
◇金1,000,000円
加藤 和祥 様
(累計金1,500,000円)
丸山 権七 様
◇金500,000円
近藤 繁久 様
酒井 陽太 様
(累計金2,100,000円)
高村 輝義 様
丸毛 三郎 様
◇金200,000円
濱田 堯 様
(累計金500,000円)
宮川 照郎 様
(累計金500,000円)
安永 達幸 様
(累計金400,000円)
◇金150,000円
赤石 庄平 様
(累計金200,000円)
石井 智 様
(累計金900,000円)
松井 辰男 様
(累計金350,000円)
匿名 1名
◇金130,000円
馬場 雅子 様
(累計金260,000円)
◇金120,000円
岡野 敬徳 様
◇金100,000円
大熊 壮成 様
(累計金200,000円)
岡本 公爾 様
(累計金500,000円)
葛田 正雄 様
(累計金600,000円)
中西 繁 様
(累計金200,000円)
新野 英樹 様
林 直昭 様
引田 万里 様
松本 二三蔵 様
(累計金200,000円)
山場 康弘 様
渡邊 達也 様
匿名 1名
◇金70,000円
小町 伸昭 様
(累計金120,000円)
◇金50,000円
青木 秀夫 様
岩永 好生 様
(累計金60,000円)
加藤 正義 様
(累計金100,000円)
國岡 昭夫 様
倉田 芳雄 様

桑田 洋一 様
(累計金60,000円)
小林 昭一郎 様
(累計金60,000円)
篠崎 清 様
(累計金100,000円)
島崎 益男 様
(累計金150,000円)
菅原 俊一 様
(累計金450,000円)
勅使川原 和義 様
(累計金80,000円)
山本 晴彦 様
(累計金100,000円)
横手 治江 様
渡辺 亮夫 様
匿名 3名
◇金40,000円
荻原 芳男 様
(累計金100,000円)
◇金30,000円
石川 万寿雄 様
(累計金60,000円)
伊藤 浩 様
(累計金90,000円)
木村 正明 様
(累計金60,000円)
小中原 馨 様
山崎 一信 様
(累計金100,000円)
匿名 3名
◇金20,000円
遊田 董夫 様
石井 清一 様
(累計金30,000円)
森 長徳 様
(累計金40,000円)
匿名 1名
◇金10,000円
相原 奎二 様
(累計金20,000円)
新井 正守 様
(累計金20,000円)
石川 翔大 様
板本 真治 様
(累計金40,000円)
江口 昌利 様
蝦名 由紀江 様
(累計金20,000円)
岡田 一成 様
(累計金40,000円)
加藤 寛 様
(累計金20,000円)
鹿野 耕次 様
(累計金20,000円)
河野 茂麿 様
(累計金20,000円)
菊池 郭元 様
(累計金30,000円)
菊野 泰治 様
(累計金40,000円)
木下 知子 様
(累計金60,000円)
栗城 一成 様
(累計金30,000円)

小林 充 様
(累計金20,000円)
小山 一郎 様
(累計金20,000円)
坂田 康雄 様
(累計金20,000円)
佐藤 金司 様
(累計金20,000円)
清水 充治 様
(累計金20,000円)
白崎 永夫 様
(累計金20,000円)
関 昭宣 様
(累計金30,000円)
田島 英幸 様
(累計金20,000円)
富井 圭介 様
(累計金20,000円)
富田 桂次 様
(累計金20,000円)
服部 真也 様
(累計金20,000円)
安庭 宗弘 様
築瀬 祥子 様
矢野 裕之 様
(累計金40,000円)
山崎 秀樹 様
与那原 邦夫 様
(累計金50,000円)
匿名 4名
◇金9,000円
村松 和雄 様
(累計金80,000円)
◇金5,000円
青山 哲也 様
(累計金15,000円)
鈴木 明夫 様
(累計金15,000円)
高尾 宜之 様
(累計金15,000円)
室井 淳 様
(累計金15,000円)
匿名 1名

〈父母保証人〉

◇金50,000円
富沢 克夫 様

〈一般個人〉

◇金60,000円
長谷川 たけよ 様
(累計金160,000円)
◇金50,000円
菅原 寛子 様
◇金8,000円
久保田 淳巨 様
(累計金28,000円)

〈元教職員〉

◇金500,000円
田中 公二 様
◇金100,000円
上原 孝雄 様
(累計金210,000円)

前田 登司男 様
匿名 1名
◇金10,000円
曾宮 建夫 様
(累計金20,000円)
匿名 1名

〈教職員〉

◇金700,000円
村田 雄司 様
(累計金1,500,000円)
◇金500,000円
澤 芳昭 様
(累計金2,300,000円)
藤嶋 昭 様
(累計金3,950,000円)
渡辺 恒夫 様
(累計金1,800,000円)
◇金300,000円
田沼 靖一 様
(累計金800,000円)
直井 英雄 様
(累計金700,000円)
◇金290,000円
山田 俊彦 様
(累計金500,000円)
◇金200,000円
松崎 育弘 様
(累計金400,000円)
◇金100,000円
佐藤 毅 様
(累計金450,000円)
菅原 秀章 様
(累計金500,000円)
並河 一道 様
(累計金300,000円)
東邦 仁虎 様
(累計金200,000円)
藤野 仁三 様
(累計金450,000円)
本郷 孔洋 様
(累計金200,000円)
匿名 1名
◇金70,000円
宇津 栄三 様
(累計金760,000円)
衣笠 秀行 様
(累計金150,000円)
◇金60,000円
山下 輝雄 様
(累計金250,000円)
◇金50,000円
小越 澄雄 様
(累計金100,000円)
坂本 正典 様
高 久晴 様
(累計金300,000円)
塚越 幹郎 様
塚本 修 様
原田 哲也 様
(累計金100,000円)
匿名 3名
◇金40,000円
田中 芳夫 様
(累計金100,000円)

福山 秀敏 様
(累計金390,000円)
匿名 2名
◇金30,000円
大矢 雅則 様
(累計金100,000円)
藤井 志郎 様
(累計金90,000円)
匿名 2名
◇金20,000円
大野 紀夫 様
(累計金70,000円)
奈良 松範 様
(累計金40,000円)
匿名 1名
◇金19,000円
金田 和博 様
(累計金44,000円)
◇金15,000円
原 泰志 様
(累計金100,000円)
匿名 2名
◇金10,000円
大木 達也 様
(累計金40,000円)
宗定 勇 様
(累計金20,000円)
友田 敬士郎 様
(累計金100,000円)
中村 岳史 様
廣田 慶司 様
(累計金100,000円)
牧 高司 様
(累計金40,000円)
松永 幸大 様
村上 利章 様
(累計金30,000円)
数 康彦 様
匿名 2名
◇金5,000円
佐伯 政俊 様
(累計金63,000円)
◇金3,000円
匿名 1名

【法人】

◇金3,000,000円
東京理科大学消費生活協同組合 様
大和理研株式会社 様
(累計金6,000,000円)

【団体】

◇金119,942円
2011ホームカミングデー
参加者有志 様

【こうよう会】

◇金22,374,400円
個人 525名
(累計金89,701,695円)

問い合わせ先

東京理科大学
募金事業事務局

〈TEL〉03-5228-8723

〈FAX〉03-3260-4363

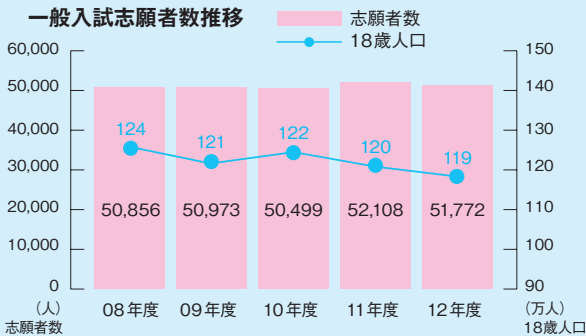
〈e-mail〉bokinjigyoo@admin.tus.ac.jp

平成24年度東京理科大学学部別志願者数

単位：人

学部	A方式	B方式	C方式	合計
理一	3,354	8,125	777	12,256
工一	2,248	6,294	685	9,227
薬学	1,154	2,288	299	3,741
理工	5,160	11,531	1,330	18,021
基礎工	1,386	2,493	366	4,245
経営	979	1,402	82	2,463
昼間部合計	14,281	32,133	3,539	49,953
理二	427	663	—	1,090
工二	294	355	80	729
夜間部合計	721	1,018	80	1,819
大学合計	15,002	33,151	3,619	51,772

一般入試志願者数推移



平成24年度
私立大学志願者数

*4月2日現在/単位：人

1	明治大学	113,320
2	早稲田大学	108,527
3	立命館大学	85,138
4	法政大学	85,129
5	中央大学	84,940
6	日本大学	84,514
7	関西大学	79,980
8	近畿大学	79,744
9	立教大学	69,452
10	東洋大学	64,829
11	青山学院大学	55,692
12	東京理科大学	51,772
13	同志社大学	51,077
14	関西学院大学	44,303
15	慶應義塾大学	43,265

出典：代々木ゼミナール

平成23年度経常費補助金

本学(法人全体)
約36億4800万円

日本私立学校振興・共済事業団は平成23年度の私立大学等(大学・短大・高専)に対する補助金(私立大学等経常費補助金)の交付状況を発表しました。全国の私立大学等(889校対象)に対する交付総額は3,393億8,112万円で、前年度より約172億円増加しました。このうち約185億円は、東日本大震災からの復旧・復興にかかわる補正予算より措置され、被災学生に対する授業料減免や給付事業を実施する大学等や設備の破損など教育研究活動の復旧を要する大学等を対象として、本学も約1億9,000万円の交付を受けました。

これを含めた交付額は、東京理大が32億6,077万5,000円、山口理大が1億7,624万5,000円、諏訪理大が2億1,133万3,000円、法人全体では36億4,835万3,000円となり、前年度より約3億円増加しました。

平成23年度私大補助金
交付額上位20校

()内の数字は前年度順位/単位億円

1	(1)	日本大学	104.5
2	(3)	早稲田大学	103.7
3	(2)	慶應義塾大学	98.9
4	(4)	東海大学	70.7
5	(5)	立命館大学	56.6
6	(8)	順天堂大学	50.6
7	(6)	近畿大学	48.8
8	(10)	北里大学	46.5
9	(11)	昭和大学	43.8
10	(7)	福岡大学	42.9
11	(9)	明治大学	41.3
12	(14)	東京女子医科大学	40.8
13	(18)	東京慈恵会医科大学	34.1
14	(19)	関西大学	33.6
15	(20)	日本医科大学	33.3
16	(17)	東京理科大学	32.6
17	(12)	同志社大学	31.7
18	(15)	法政大学	31.4
19	(13)	関西学院大学	30.5
20	(25)	埼玉医科大学	29.7



Prize

優れた成果を 挙げた学生を表彰

平成23年度に優れた成果を挙げた学生を表彰する「学長表彰式」と「学生表彰式」が行われました。

課外活動や社会活動において、優れた功績を挙げた学生や評価を受けた学生を対象とする学長表彰式が、3月7日(水)に日本出版クラブで開催されました。学長や学部長をはじめ教職員、他の受賞者など総勢約120人が見守る中、学長賞に2団体、学生部長賞に1団体と個人2人が表彰され、藤嶋昭学長から表彰盾と副賞が贈呈されました。学長賞を受賞した柔道部神楽坂地区主将の鈴木健太郎さん(理一・応用化学・3年)と柔道部野田地区主将の堺智寛さん(理工・物理・3年)は次のように受賞の喜びを語りました。「このような栄誉ある賞をいただき、大変うれしく思います。柔道は個人競技ではありますが、いろいろな方の応援、支えがあったからこそ、受賞できた賞だと思っています。また、私たちは引退しますが、後輩たちが自分たちの精神を引き継ぎ、今回以上の成績を残していって欲しいです」

また、研究等の成果が特に優れている学生を対象とする学生表彰式は3月8日(木)、神楽坂校舎9号館7階第一会議室で開催され、8人が表彰されました。

今回表彰された満汐孝治さん(理学研・物理・博2年)は「今回このような栄誉ある賞をいただき大変光栄です。これもお世話になった先生方のおかげだと感謝しております。今後は現在興味を持っている反物質の研究に取り組んでいきたいです」と受賞の喜びと今後の抱負を語りました。表彰者は別表のとおり。



柔道部の演舞の様子

藤嶋昭学長(下段中央)、佐々木健夫顧問(同右)、小向得優学生部長(同左)と記念撮影する学長賞受賞の柔道部員8人

●平成23年度 学長表彰 受賞者・受賞団体

(所属・学年は受賞時)

学長賞〔団体〕			
I 部体育局 柔道部（神楽坂）	I 部体育局 柔道部（野田）	第60回全日本学生柔道優勝大会 3 回戦／第52回全日本理工科学生柔道優勝大会 3 位	
学生部長賞〔団体〕			
I 部体育局 ソフトボール部（野田）	第26回東日本大学ソフトボール選手権大会 3 位／平成23年度関東学生ソフトボール春季 I 部リーグ戦 優勝		
学生部長賞〔個人〕			
大久保 宇悟（I 部体育局 硬式庭球部(神楽坂) 理学部第一部 化学科 4年） 関東理工科大学硬式庭球連盟 2011 年個人戦 男子ダブルス 優勝（友田・大久保ペア）		友田 圭祐（I 部体育局 硬式庭球部(野田) 理工学部 電気電子情報工学科 4 年） 関東理工科大学硬式庭球連盟 2011 年個人戦 男子シングルス 準優勝 関東理工科大学硬式庭球連盟 2011 年個人戦 男子ダブルス 優勝（友田・大久保ペア）	
特別功労賞〔個人〕			
五十嵐 亮平（久喜 経営学部 経営学科 4 年）		加藤 健（I 部体育局 舞踏研究部(神楽坂) 工学部第一部 経営工学科 4 年）	
功労賞〔個人〕			
伊藤 豊大（I 部体育局 局長）他 本部役員 計13名		田所 晋一（II 部体育会 会長）他 本部役員 計 3 名	
特別奨励賞〔団体〕			
I 部体育局 男子ラクロス部（神楽坂）	I 部体育局 男子ラクロス部（野田）	I 部体育局 ハンドボール部（神楽坂）	I 部体育局 ハンドボール部（野田）
特別奨励賞〔個人〕			
関根 光一（I 部体育局 少林寺拳法部(神楽坂) 工学部第一部 経営工学科 3 年）		矢崎 貴紀（I 部体育局 少林寺拳法部(神楽坂) 理学部第二部物理学科 3 年）	
田中 健太（I 部同好会・その他 校道居合道部(神楽坂) 工学部第一部 工業化学科3 年）		浦和 新（野田同好会 ジャグリング部(野田) 理工学部経営工学科 2 年）	
古谷 昌平（I 部文化会 将棋部(神楽坂) 理学部第一部 化学科 3 年）		田中 大希（I 部体育局 水泳部(野田) 理工学部 機械工学科 2 年）	
奨励賞〔団体〕			
野田文化会 機械工学研究会（野田）		I 部体育局 陸上競技部（神楽坂）	I 部体育局 陸上競技部（野田）
奨励賞〔個人〕			
菊田 恭平（I 部体育局 ハンドボール部(野田) 理工学部 数学科3 年）		高橋 夏樹（I 部同好会・その他 サイクリング同好会(神楽坂) 工学部第一部 機械工学科 2 年）	
感謝状〔団体〕			
理大祭実行委員会（神楽坂）		理大祭実行委員会（野田）	理大祭実行委員会（久喜）
理大祭実行委員会（神楽坂・野田・久喜）			
野田文化会 ココサボ（神楽坂）	I 部体育局 サッカー部（久喜）	久喜その他 ナレッジ研究会（久喜）	I 部体育局 軟式野球部（久喜）

山口東京理科大学ニュース

平成24年度 入学式

桜満開の中、平成24年度入学式が4月7日(土)に本学5201教室で挙行了されました。本年度は工学部機械工学科72人、電気工学科68人、応用化学科60人、大学院修士課程5人、博士後期課程1人、計206人の新入生を迎えました。



新入生諸君へ 山口東京理科大学 学長 塚本恒世

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。山口東京理科大学は、130余年の歴史を有し、我が国における理工系高等教育をリードしてまいりました。東京理科大学の建学の精神、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を、山口県においても展開し実現するべく設置され、「世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者の育成」「波及効果の期待できる独創的・先進的研究の推進」「教育・研究と地域貢献が一体化した生涯教育の充実」を基本理念とした教育研究を展開し、多くの優秀な人材を輩出してまいりました。特に、地方に生きる大学として、「地域産業界のキーパーソン育成」を目標に掲げ、確かな基礎学力と高度な専門知識の修得を通じ、「地域を愛し」「地域に学び」「地域に貢献する」人材を養成するための教育改革を推進しております。ものづくりをキャリア教育に活かす新たな取り組みや、県内の他の大学と連携して山口県の文化や社会などを、大学の枠を超えて一緒に学ぶ試みが文部科学省からも認

定されるなど、本学の教育水準の高さは社会からも高く評価されています。皆さんにおかれましても、積極的にこれらの取り組みに参加され、自らの成長を果たされとともに、将来地域社会の活性化を担う人材として活躍されるよう、強く期待しています。また、急速に国際化が進む中であって、今回、多くの留学生の皆さんをお迎えしました。本学としても皆さんに満足していただけるよう、出来る限りの努力をいたしますが、皆さんにおかれましても積極的に他の学生や教職員、さらには地域社会の方々と交流され、卒業後は母国のみならず、グローバルに活躍する人材に育ってほしいと願っております。

友人との触れあい、先生からの教え、書物との出会いなど、学生時代にしかできない数多くの経験を通じて、社会的な自立を達成していただきたいと思っています。

どうか健康に留意され、若い力を思い切り発揮しながら、有意義な学生生活を過ごされますようお願いしております。

平成23年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」シンポジウムを開催

3月9日(金)、山口グランドホテルで平成23年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」シンポジウムが開催され、県内外から約80人の参加があり、聴講者は熱心に耳を傾けていました。

第1部の基調講演は、人工衛星「まいど1号」を開発し、打ち上げに成功したプロジェクトリーダーである東大阪宇宙開発協同組合の枚本日出夫理事長が講師を務め、ものづくりの夢を実現するまでの過程やひとつづくりの心について語りました。

第2部の取り組み報告では①技術開発力育成②キャリア教育③就職支援④地域連携のプロジェクトリーダーの教員が、取り組み内容について詳しく報告を行いました。その後、「山口東京理科大学学生フォーミュラチーム」の学生たちが、1年間の活動内容や成果、今後の課題を報告。大きな成果として、ものづくりの精神を学び、本物の技術開発の一端が身に付いたことを挙げ、プレゼンテーション能力の向上を図ることができ、課題発見力や規律性も身に付き、自分自身の就業力を高める上でも、大いに役立っていると発表しました。



「第一種電気主任技術者」国家資格取得校として認定

経済産業省から、本学工学部電気工学科の所定の科目を修得することにより、「電気主任技術者」の国家試験が免除され、一定の実務経験を積むだけで、第一種、第二種および第三種電気主任技術者の国家資格を取得できる学校として認定を受けました。

電気主任技術者は、発電や送変電設備、電動力を使用する各種工場等の電気工作物の工事・維持および運用に関する保安の監督を行うことのできる資格で、電気事業者と自家用電気工作物の設置者は、この資格を持つ者の中から主任技術者を選任しなければならないことが、電気事業法により義務付けられています。

資格保持者は電気・電力関連企業や電気通信関連企業、鉄道会社や工場、総合病院、ビル管理会社など幅広い業種で活躍することが期待されます。

【取得できる電気主任技術者免状】

●第一種電気主任技術者

すべての事業用電気工作物の工事・維持および運用ができる。

●第二種電気主任技術者

電圧17万ボルト未満の事業用電気工作物の工事・維持及び運用ができる。

●第三種電気主任技術者

電圧5万ボルト未満の事業用電気工作物の工事・維持及び運用ができる。
(出力5000キロワット以上の発電所を除く)

【適用年度】

平成21年度入学生(電気工学科第1期生)から適用

●平成23年度 学生表彰 受賞者

(所属・学年は受賞時)

受賞者	受賞内容
満汐 孝治 (理研・物理・博2年)	1. ボジトロニウム負イオンの光脱離を世界で初めて実現 Physical Review Letters誌に掲載、および高エネルギー加速器研究機構のHPIにハイライトとして紹介 2. カスプトラップを用いて反水素を生成することに成功 Physical Review Letters誌に掲載、およびPhysics World誌の2010年の十大ニュース第1位に選出 3. 平成24年度日本学術振興会特別研究員 (DC2) 採用
藏重 亘 (総化研・総化・修2年)	1. 論文掲載3件 (Full Paper2件、Letter1件) 2. 学会発表10件のうち、第3回分子科学討論会優秀ポスター賞および第19回日本MRS学術シンポジウム奨励賞受賞
鈴木 千裕 (総化・総化・修2年)	マリー・キュリー国際電池コンテスト (国際電気化学会および日本電気化学会共催) でGold Prize (最高賞) 受賞
山崎 敦央 (総化・総化・修2年)	1. 原著論文2件 2. 著書3件 (印刷中含む) 3. 学会発表8件 (うち口頭発表登壇者2件、国際会議3件含む) 4. 修士論文の筆頭著者論文がRoyal Society of Chemistry (英国王立化学会) のRSC Advances誌の招待論文として掲載
波利摩 星也 (工研・建築・修1年)	「NRI学生小論文コンテスト2011」大賞受賞 (野村総合研究所主催：応募総数1037点)
大塚 忍 (工研・機械工・修2年)	1. 論文 (査読付) 2件 2. 国際会議プロシーディングス (査読付) 3件 3. 論文 (査読なし) 3件 4. 国内研究発表9件、解説1件 5. 第26回日本脳血管内治療学会学術総会ポスター賞受賞
生亀 清貴 (理工研・情科・博2年)	1. 論文 (査読付) 6件 (アメリカ (2件)、イギリス、オーストリア、オランダ、インドの著名な学術雑誌に掲載) 2. 投稿中論文1件 3. 学会等発表11件 (今後2件の発表を申込済み (うち1件は国際会議)) 4. 応用統計学会優秀ポスター発表賞受賞 5. 統計関連学会連合大会優秀報告賞受賞 6. 日本計算機統計学会学生研究発表賞受賞
草柳 友恵 (理工研・応生・博2年)	1. 学術論文6件 2. 日本学術振興会特別研究員 (DC1) 3. 国際学会2011 American Society of pharmacognosy annual meetingポスター賞受賞



上段左から山崎敦央さん(総化研・総化・修2)、波利摩星也さん(工学研・建築・修1)、藏重亘さん(総化研・総化・修2)、満汐孝治さん(理学研・物理・博2)、下段左から生亀清貴さん(理工研・情報科学・博2)、鈴木千裕さん(総化研・総化・修2)、藤嶋学長、草柳友恵さん(理工研・応用生物・博2)、大塚忍さん(工学研・機械工・修2)

諏訪東京理科大学ニュース

平成24年度 入学式

4月6日(金)に諏訪東京理科大学第11回目の入学式が挙行されました。本年度入学生は、システム工学部電子システム工学科89人、機械システム工学科57人、経営情報学部経営情報学科99人の計245人でした。同時に本学大学院の入学式が挙行され、修士課程15人、博士後期課程4人が入学しました。



新入生諸君へ 諏訪東京理科大学 学長 河村洋

新入生の皆さん、諏訪東京理科大学へのご入学、おめでとう。本学は、130年の歴史を持ち約2万人の学生を有する東京理科大学の一員です。東京理科大学に培われてきた「教育を大切にする伝統」と、「最先端の科学技術に挑戦する気概」は、本学にも脈々と受け継がれています。われわれ東京理科大学の建学の精神は、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」です。昨年の3月11日に発生した東日本大震災からの立ち直りは、今だに程遠いものがありますが、この建学の精神が示すように、今、日本を復興させるには、やはり科学技術の力が必要です。本学では、「工学と経営の融合教育」という特色のある教育に力を入れています。特に、再生可能エネルギーや地球温暖化をはじめとする環境問題に対して、テクノロジーとマネジメントの両面から取り組んでいます。昨年は、この授業を基盤とする学生チームが、経産省の進める「社会人基礎力育成グランプリ」に出場して、関東地区で奨励賞を受賞しました。新入生の皆さんも、ぜひこれらを通して力をつけてほしいと思います。

また今年度からは、本学の大学院でも博士後期課程を開設し、第一期生を迎えます。この博士後期課程では、先端的な研究開発を行いつつ技術とマネジメントの両面から活躍できる人材を養成して、本学の大きな使命である地域貢献を、一層進めるものです。本学では、最近の非常に厳しい就職状況の中でも、高い就職率を達成していますが、ただ本学を卒業すれば就職が出来るわけではありません。皆さんが実社会で活躍していくためには、専門的な知識だけでなく、社会人としての力を身に付けることが必要です。そのためには、サークル活動や教員との協働による実践活動にも参加して、周囲の人たちとの豊かなつながりを築いてください。学生時代は人生の中でも大切な時期です。皆さんがこの美しい自然の中で、実り豊かな学生生活を送れるよう、私たち教職員も力を合わせて応援します。

就職

学部全体で90%が進路決定

文部科学省及び厚生労働省は、平成24年2月1日現在の就職希望者に対する内定者の割合(就職率)を80.5%であると発表しました。これは、“過去最低”だった前年度を若干上回るものの、依然として「就職氷河期」に相当する厳しい状況が続いています。こうした状況下、3月末時点での本学卒業・修了者に対する進学、就職等の割合(進路決定率)は、学部全体で90.0%、大学院修士課程で94.1%となっています。また、就職率は、学部全体で87.8%、大学院修士課程で93.5%となっています。別表のとおり、企業への就職は、大手電機メーカー、通信、運輸、情報産業への内定が目立っています。教員関係は、162人が内定、公務員は、153人が内定しました。一方、大学院修士課程には、他大学を含め1,892人が進学しました。平成24年度学生の就職活動に関しては、昨年3月に経団連による「選考に関する企業の倫理憲章」が大幅に改定され、企業の採用選考に関する広報活動が10月から12月となり、2カ月間遅くなりました。一方、選考試験などは従来どおり4月からとなっております。そのため就職活動の開始から面接・試験までの期間が短縮され、とりわけ企業研究(業界・職種研究)の遅れが懸念されています。就職課(就職支援室)では低学年からのキャリア支援をはじめ、さまざまなサポートを行っています。6月には学部3年生・大学院修士課程1年生対象の「進路ガイダンス」が始まり、順次、各種講座を実施します。積極的に参加し将来の進路選択への意識を高め、不安や疑問があれば遠慮なく相談してください。

●平成23年度主要内定先 (多数順)

企業	※(株)は省略	内定者数
日立製作所		30
三菱電機		27
NTTデータ		24
東日本旅客鉄道		21
野村総合研究所		19
東日本電信電話		19
ホンダ		17
日本電気		16
キヤノン		14
清水建設		14
ソニー		12
ヤフー		11
中外製薬		11
日立ソリューションズ		11
日立システムズ		10
日野自動車		10
アズビル (旧 山武)		10
NTTコムウェア		9
NECソフト		9
東海旅客鉄道		9
積水ハウス		8
ニトリ		8
鹿島建設		8
三菱自動車工業		8
東芝		8
KDDI		8
三井住友銀行		7
パナソニックシステムソリューションズ ジャパン		7
大和ハウス工業		7
大林組		7
アステラス製薬		7
デンソー		7
富士ゼロックス		7
NTTコミュニケーションズ		7
リコー		7
バイエル薬品		7
公務員		
東京都職員		22
千葉県職員		8
横浜市職員		8
警視庁		8
教育		
公立 (中学・高等学校)		110
私立 (中学・高等学校)		52

本学大学院生(修士2年) 寺島大雅さんが受賞

情報処理学会・電子情報通信学会が主催する第10回情報科学技術フォーラムFIT2011で、本学大学院工学・マネジメント専攻科修士2年の寺島大雅さんがFIT2011ヤングリサーチ賞を受賞しました。受賞テーマは、「DSPを用いた雑音抑圧法のための有色性駆動源カルマンフィルタアルゴリズム」で、寺島さんのプレゼンテーションおよび論文内容が高く評価され、FIT2011ヤングリサーチ賞にふさわしい論文と認められました。



「地域コンソーシアムリレー交流会」開催

3月2日(金)に諏訪湖畔のホテルを会場に、諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会主催による「リレー交流会」を開催しました。昨年度まで本協議会の事業として本学教員によるフォーラムや技術実習を行ってきましたが、大学創立10年の節目を機に、大学と地域企業との更なる連携を深めることを検討。原点に返り大学のシーズが企業とマッチングしやすい具体的な提案をすることを目的に企画したものです。当日は、諏訪地域内の企業と行政および各種団体から約70人の参加があり、後半の情報交換会では発表した教員と企業との積極的な意見交換があるなど、大いに盛り上がりました。来年度は各地域に大学が出向き研究シーズを紹介していく予定です。

就職、粘り強く健闘

平成23年度の学部卒業生の就職内定率は90.7%(3月31日現在)で、就職先は昨年同様に長野県内企業が最も多く7割を超え、以下東京都、山梨県と続き、地元志向が強い結果となりました。業種別では、システム工学部で昨年よりも多い、約7割の学生が製造業への就職を決め、次いで建設業、情報通信業と続き、経営情報学部では製造業が約3割、卸売業・小売業が約2割の他、複合サービス業、情報通信業など幅広い分野へ進みました。また、大学院修士修了生の就職内定率は、

90.5%で、全体的に昨今の就職環境の厳しさを反映する結果となりました。そのような状況下においても、本学へは地元企業を中心に年間を通じて求人が寄せられ、学生も粘り強く取り組んだ結果、年明けから内定を勝ち取る学生がいるなど、就職内定率は増加しました。厳しい就職環境が予測される中、学部3年生には東京への就職活動支援バスツアーの実施や模擬面接とカウンセリング等でサポートを行い、2月には学内合同企業説明会を実施。説明会には昨年度を16社上回る121社の企業が本学に来校しました。

Topics

女子美術大から絵画、造形物が寄贈される

3月15日(木)、女子美術大学(神奈川県相模原市)から絵画4作品と、共同制作の象をモチーフにした大物造形物が寄贈されました。本学では以前から、女子美術大学と包括協定を結んでおり、昨年6月には「ヒーリング・

アート」をテーマとした絵画2作品が寄贈されました。今回寄贈された絵画は3号館2階と2号館1階の2カ所に、大物造形物は8号館入り口階段前に展示されています。ぜひ「芸術の春」を感じてみてください。



野田キャンパスに 器官再生工学プロジェクト研究棟が竣工

器官再生工学プロジェクト研究棟が野田キャンパスに竣工し、1月30日(月)に竣工式が行われました。本学では、民間企業との産学連携を組織的に推進するため、総合研究機構に社会連携部を設置し、学術的な基礎研究成果の発信と民間企業による実用化技術の開発が直結した形で推進することを目指しています。この研究棟は、株式会社オーガニテックノロジーズとの共同研究である「オーガニテックノロジーズ器官再生工学プロジェクト(代表:総合研究機構辻孝教授)」の研究体制の充実と研究目標に沿った研究成果をあげるため、産学連携の具体的施策の一つとして、建設されたものです。21世紀型の新たな医療システムとして期待される再生医療は、現在、幹細胞を損傷部位へ移植

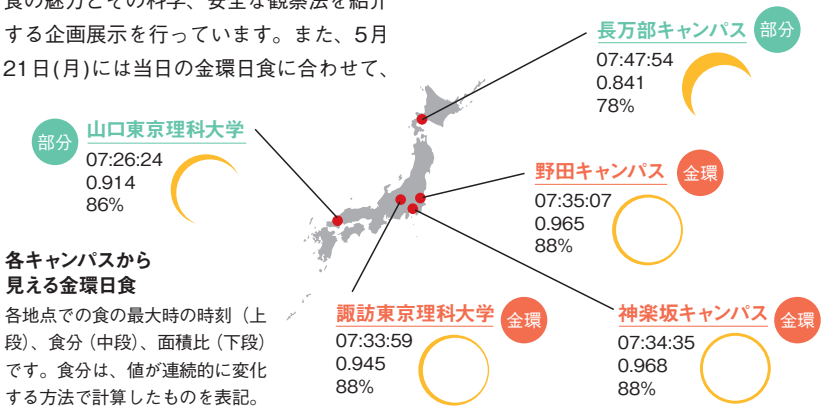
し、組織修復する「幹細胞移入療法」や細胞シートなどによる「組織再生」から臨床応用化が始まりつつあります。式典には藤嶋昭学長をはじめ、理事、副学長など大学関係者、また工事関係者約20人が列席のもと、玉串奉奠等が行われました。この研究棟は、臓器・器官の再生医療システムの研究拠点として期待されます。



近代科学資料館で『日食展－5.21奇跡の天文現象－』を開催

本学近代科学資料館で5月31日(木)まで企画展『日食展－5.21奇跡の天文現象－』が開催されています。日食を通した科学普及活動を目的とし、江戸時代の日食に関する古文書から最新の観測記録まで、日食の魅力とその科学、安全な観察法を紹介する企画展示を行っています。また、5月21日(月)には当日の金環日食に合わせて、

神楽坂キャンパス、野田キャンパス、長万部キャンパス、山口東京理科大学、諏訪東京理科大学の5カ所から金環日食観測のインターネット同時中継を予定しています。皆さまのご来場をお待ちしております。



平成24年度教員免許状更新講習のご案内

本学では、以下のとおり教員免許状更新講習を行います。
● 受講者受付期間:平成24年5月7日(月)～18日(金)
● 申込み方法:本学HP
● 実施場所:神楽坂校舎

	講習の名称	時間数	講習の期間
必修	学校教育における今日的課題	12時間	平成24年7月30日(月)～31日(火)
選択	数学教育リフレッシュ講座(1)、(2)、(3)	各6時間	平成24年7月25日(水)、26日(木)、27日(金)
選択	理工系キャリアを目指す高校生のためのロボコンを体験する講座	18時間	平成24年7月25日(水)～27日(金)
選択	理科授業の達人への道(高校物理、高校化学、高校生物、高校地理、中学校理科・小学校理科専科)	各18時間	平成24年8月1日(水)～3日(金)

講習日時、受講人数および申込み方法等の詳細は、本学HP(<http://www.tus.ac.jp/ks/kmenkyo/>)をご覧ください。

Prize

受賞一覧			東京理科大学生の各種論文・研究発表等の受賞一覧(2011年07月～2011年12月)	
受賞者(所属・学年は受賞時)	受賞名	大会・学会名	受賞テーマ等	受賞日
多田 文武	基礎工研・材料工・修2	Student Travel Award	Effects of reducing agent on photoluminescence properties of copper ion doped alkali borosilicate phase-separated glasses	2011/07/14
草柳 友恵	理工研・応生・博2	Poster award	IDENTIFICATION OF A DOXORUBICIN-BINDING PROTEIN FROM A T7 PHAGE DISPLAY SCREEN	2011/08/03
関 正倫	理工研・電気工・修1	優秀ポスター賞	ビスマス層状構造と強誘電体(Sr _{0.7} Ca _{0.3}) ₂ Bi ₄ Ti ₅ O ₁₈)セラミックスを用いた超音波モーターの作製と評価	2011/09/08
大場 彩夏	理工研・工化・修1	学生奨励賞	経時安定性に優れる高内水相比W/O型エマルジョンの開発	2011/10/11
波利摩 星也	工学研・建築・修1	大賞	日本型「もったいない社会」の提案+交通インフラという持続可能都市モデル～	2011/11/04
東條 貞樹	基礎工研・材料工・修2	ポスター賞	メゾスコピック凹凸表面を利用した太陽光スペクトルに準じた光学的整合	2011/11/08
西川 文敬	工学研・機械工・修1	優秀講演論文表彰	Ultra High Speed Micro-milling Spindle Directly Supporting Endmill Shank by Aerostatic Bearings	2011/11/09
松本 泰季	理工研・土木・修2		分割練混ぜ方法がフライアッシュコンクリートの自己治癒に及ぼす影響	
染谷 望	理工研・土木・修1	優秀講演者賞	水平打継ぎ部の耐久性に関する研究	2011/11/10
野崎 亮	理工研・土木・修1		リモートセンシングデータと地理情報を用いた斜面崩壊形態広域推定図の提案	
宮嶋 ゆりあ	薬学研・薬・修2	優秀ポスター賞	Chloropupukeananinの合成研究	2011/11/11
小宮 惇	理工研・工化・修2	優秀口頭発表賞	チタニアナノスケルトンの調製条件が構造および光触媒活性に与える影響	2011/11/15
河野 文彦	総化研・総化・修1		機能性ポリマー担持グラフェンの開発	
宮島 悠輔	理工研・工化・修1		チタニアナノスケルトンを用いた大小金ナノ粒子のサイズ分画	
山際 清史	総化研・総化・博3	優秀ポスター賞	ナノカーボン担持白金触媒の新規液相一段合成法の開発	2011/11/15
福島 奈津子	総化研・総化・修2		スルホン酸基含有炭素質固体酸の合成とそのプロトン導電性	
藤吉 聡	理工研・工化・修1		Zスキーム型可視光水分解における光触媒の表面処理の検討	
和田 真理絵	理工研・工化・修1		耐アルカリ性が向上したWO ₃ 光触媒膜の作製およびその光触媒活性	
松橋 和範	理工研・工化・修2		光応答性物質の添加による界面活性剤吸着層の構造変化	
上野 摩耶	理工研・工化・修1	優秀ポスター賞	ポリイオンコンプレックスを利用したエマルジョンの調製	2011/11/16
高橋 妃呂	総化研・総化・修1	Poster Prize	Electrochemical Control of Spontaneous Vesicle Formation in Aqueous Solutions of Single-Tailed Ferrocenyl Surfactant	2011/11/22
佐々木 佑樹	総化研・総化・修2	若手講演賞	四員環マグネシウムカルベノイドと芳香族アルコール類によるspiro[3.6]decadienone類の合成	2011/11/26
川西 達也	総化研・総化・修1	若手講演賞	不斉エステル化によるラセミ2-ヒドロキシWeinrebアミド類の速度論的光学分割	2011/11/27
勝田 健史	理工研・機械工・修2	毛利ポスターセッション優秀賞	微小重力環境下における薄自由液膜内マランゴニ対流と液膜変形	2011/11/29
新井 薫	理工研・物理・修2	OPJベストプレゼンテーション賞(OPJBP賞)	2波長の光コムを用いた干渉計測における空気屈折率補正の高精度化	2011/11/30
長岡 朋弥	総化研・総化・修1	ポスター優秀発表賞	多層カーボンナノチューブ添加による天然ゴムの熱劣化防止挙動	2011/12/01
奥山 祐	総化研・総化・修1	Student Paper Award	Effect of surface modification of TiO ₂ photoelectrode on the performance of dye-sensitized solar cells with black dye	2011/12/01
斉藤 友秀	理工研・工化・修2		金属ヘマトボルフィリン誘導体含有リボソームの抗癌作用評価	
山口 貴子	理工研・工化・修2	ゴールドポスター賞	マンガンボルフィリン錯体含有リボソームの抗酸化・抗癌作用とその機構	2011/12/03
村中 大地	理工研・物理・修2	The Meshkov Award	Numerical Nahm transform for 2-caloron solutions	2011/12/19
前島 雪絵	理一・化学・4		N-アセチルノイラミン酸(Neu5Ac)と特異的結合挙動を示すフェニルボロン酸機能化ポリマー界面	
沖村 沙耶	総化研・総化・修1		微細加工PEGゲル表面上への肝細胞ヘテロスフェアロイドのマルチアレイ形成	
河野 和正	工一・工化・4	奨励賞	コロイド粒子と化学修飾グラフェンによる機能集積	2011/12/21
坂東 加奈子	理一・化学・4		骨組織工学におけるキトサン/カーボンマイクロコイル複合膜の作製	
河合 亘	基礎工研・材料・修1		Adhesion of Biodegradable Hydrogels Utilizing the Polyion Complex Formation through Impressed Voltage	

Special
Interview「こちら葛飾区亀有公園前派出所」作者
秋本 治先生 インタビュー

連載35周年を迎える国民的マンガ、「こちら葛飾区亀有公園前派出所」。
作者の秋本治先生に、地元である葛飾に対する想いと、
そこに誕生する東京理科大学の葛飾キャンパスについて伺いました。

——東京理科大葛飾キャンパスが2013年4月にオープンすることについてどう思われますか？

秋本 最初に噂を聞いた時にはびっくりしましたが、葛飾区に初めて大学が出来るというのは感無量ですね。どこにつくるんだろうと思っていたら、金町だということで、ああなるほど、と。あそこなら水元公園も近いし、良い環境で学べるんだろうなと思いましたね。大学というのは、もちろん勉強も大切ですが、その大学がどんな町にあるのかも重要ではないでしょうか。葛飾キャンパスの近くには中川が流れていますし、川辺の風景もなかなか雰囲気があります。そうした風景が学生さんたちの記憶に残ってくれたらうれしいですね。学生時代はあまり感じないかもしれませんが、後になって思い出した時に、「ああ、いい所で過ごしていたな」と懐かしく思い出してもらえるような場所になってくれたらと願っています。

——秋本先生の少年時代と比べるとだいぶ町並みも変わったのでしょうか。

秋本 東京自体がどんどん変わっていく場所ですからね。亀有も駅前にビルが出来てだいぶ変わりましたが、一方でぼくが子どものころと変わっていないところもあります。亀有食品市場という魚屋さんや八百屋さんが入るスーパーマーケットのコンパクト版のような場所があるんですが、そこなんかは昔のままですよ。小学生のころ、母親とけんかして家出したことがあるんです。でも、どこも行くところがなくて、その市場に行って水を飲んで帰ってきたという思い出があるんですけど、その水飲み場もまだありますよ。子どものころによく行った場所がそのまま残っているというのは不思議な感じがしますね。商店街も、建て替えたりビルになったりしていますが、配置自体は変わっていません。子どものころから知っているおじさんがまだいますから、悪いことはできません(笑)。新しいものも出来ているけど、同時に懐かしいものも残っているのがこの辺りの良さでしょうね。

——まさに「こち亀」の世界ですね。

秋本 そう、どちらかに偏るのではなく、古いものと新しいものが共存しているのが面白いんです。普通、大きなスーパーが出来ると商店街と敵対しがちなんですが、亀有はうまく共存共栄しています。こち亀ゲームは〜くが出来るとなれば、商店街に両さんの銅像をつくって、こっちにもお客さんに寄ってもらおうとか、僕も町の人たちと一緒にいろんなことを考えて活性化に取り組んでいます。アイデアを駆使して活性化すれば、若者

もちゃんと注目してくれるんですよ。

——幅広い層から支持される両さんというキャラクターが古いものと新しいものをつなぐ役割を果たしているんですね。

秋本 そこは長く描き続けてきたことの一つの成果かもしれません。35年描き続けていると、小学生のころ読んでいた人がお父さんになって、今度は子どもに読ませていたりしますから。若い人が来なくなって高齢者だけになってしまうと町は活性化しません。だから、「こち亀」効果も手伝って若い人たちが町に来てくれるのはとてもうれしいですね。今回の葛飾キャンパスのように、大学が出来るというのは町にとって念願でしたから、本当に良かったです。

——東京都内でも、墨田区・足立区・葛飾区の下町三区は、こと教育に関してはやや手薄と言われてきましたが、今回の葛飾キャンパス開設を機にそのイメージが変わるのではと期待する声も多いようです。高田馬場なら早稲田、三田なら慶應というように、金町なら理科大といわれるようになれば…。

秋本 そうなったらうれしいですね。金町周辺には結構若者向けのショップも増えつつあるし、水元公園ではバンドが出場するイベントなども開かれています。若い人にとっても住み心地がいいと思いますよ。

あと、金町周辺は昔から銭湯が多いんです。そこが住民同士のコミュニケーションの場になっているので、一人暮らしをする学生さんにはぜひ利用してもらいたいですね。今は風呂なしのアパートに住む若者は少ないと思いますが、せっかく葛飾区に来るのなら、ぜひ下町ならではの体験をしてもらいたいと思います。商店街に行けばお惣菜はいくらでもあるので、家でごはんだけ炊けばいい。店の人に「今日のおすすめは何ですか？」と聞けば丁寧に教えてくれるでしょうし、場合によってはおまけしてくれるかもしれません。

——お風呂を家で沸かさず、おかずも外で調達すれば光熱費もかからないですし、エコかもしれませんね。

秋本 そうですよ。そうやって地域の人たちと触れ合ってほしいですね。授業が終わったらすぐ家に帰ってずっとパソコンの前に座っているというような生活じゃなくて、どんどん町に出てほしい。地元のお祭りなどにも積極的に参加してもらえたら、みんな助かると思いますよ。祭りは若い人がいないと大変ですから(笑)。

——実は大学では、町の活性化のために地元との連携事業としてB級グルメをつくれないうことで、葛飾バーガーと葛飾丼のようなものを学食が



自然がいっぱいの水元公園



秋本治 (あきもと・おさむ)

1952年、東京都葛飾区亀有生まれ。1976年に『週刊少年ジャンプ』(集英社)で「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の連載がスタートし、現在も連載中。少年誌の連載最長記録としてギネス記録にもなっている。通称「こち亀」と呼ばれる作品は、アニメ、ドラマ、映画にもなり、幅広い世代から愛されている。

愛され続けて連載35周年！
国民的マンガ「こち亀」とは？

今年、連載35周年を迎える国民的長寿マンガ、『こちら葛飾区亀有公園前派出所』。型破りな巡查長、両津勘吉(両さん)を主人公に、同じ派出所のメンバーである中川圭一や秋本・カトリヌ・麗子たちとのさまざまなエピソードを描く。2006年には亀有に両さんの銅像が立つなど、地元密着型の漫画でもある。



これまでに刊行された「こち亀」は、最新刊で179巻。連載35周年を記念して、集英社の13の漫画誌に両さんが出張するという特別な描き下ろし企画も行われた。

©秋本治・アトリエビーだま 集英社

ら発信できないかと考えているんです。カツシカにかけてシカ肉のカツを使ったらどうか、と。

秋本 それは面白いですね。葛飾のご当地グルメはありそうではないですから、完成した暁には、「こち亀」の中で両さんが食べているかもしれませんね(笑)。

葛飾
Walk!!

Katsushika Campus Area

Vol.7
葛飾の
名物スイーツ

和菓子から洋菓子まで、
下町葛飾の知られざる
名物スイーツを紹介
します。



米米ロール
1本
1200円

菓子工房キャラント

開店当初から販売しているモンブランはやや大きめサイズ。栗は北海道産を使用するこだわりようで、中のクリームにはラム酒を使用していることもあり、大人も楽しめるモンブランといえる。かわいらしい内装も女性に人気の秘けつ。

葛飾区水元5-14-3 ☎03-5699-7656
(営) 11:00 ~ 19:00 (平日のみカフェ 18:00終了)

い志ゐ

一押しは米米ロールは京菓子職人だった若旦那が考案したもので、口に入れた瞬間和三盆の香ばしい香りが広がる。無添加でミルクだけを使用した素朴な甘さの生クリームがうれしい。香りと甘さのハーモニーで至福のひとつときを。

葛飾区柴又7-6-20
☎03-3657-1749
(営) 平日 8:30 ~ 17:00
／日祝日 8:30 ~ 18:00

モンブラン
360円

高木屋老舗

昔ながらの店構えで、製法は明治16年の創業当時から変わらない。同じ味を実現するために季節ごとに作り方を変えるこだわりの名物・草だんごは、モチモチの食感でよもぎがほのかに香る上品な甘さ。ぜひお店で作り立てをいただきたい。

葛飾区柴又7-7-4 ☎03-3657-3136
(営) 7:30 ~ 18:00

草だんご
(5粒)
300円

お菓子屋ビスキュイ

「一つだけの目玉商品は作りたくない」という店長のこだわりで、ショーケースには色とりどりのケーキが常に30種類以上並ぶ。併設のカフェスペースにはお洒落なオープンテラスも。これからの時期にぜひ立ち寄りたい。

葛飾区柴又4-32-16
☎0120-082-801
(営) 9:30 ~ 19:30
休日：年5日程度



店長
こだわりの
ケーキが並ぶ

カンパニユラ

一番人気はシュークリーム。半カラメルを使用した皮はこんがりサクサクでほどよい甘さ。中にはぎゅっと生クリーム入りカスタードが詰まっています。食べ応えは抜群！売り切れ必至なので早い時間に買いに行こう。

葛飾区立石7-10-21
トワモリオビル1階
☎03-5698-8650
(営) 10:00 ~ 19:00
休日：月2日程度

カンパニユラの
こんがりシュー
200円





ボーイング777の機長として活躍するパイロット

田島 純さん（日本航空パイロット）

自分の専門分野以外に
“もうひとつの得意技”を持ってほしい



田島 純（たじま・じゅん）

1965年神奈川県生まれ。88年、東京理科大学理学部応用物理学科卒業。90年、理学研究科物理学専攻修士課程修了。同年4月、日本航空にパイロット訓練生として入社。B747-400型機副操縦士、同型機機長を経て、現在B777機長。

現在にはボーイング777の機長として活躍する田島さん。意外にも、パイロットという仕事を選んだきっかけは、大学の後輩からのすすめだったという。

「就職活動を始めるまでは、自分の職業イメージの中にパイロットという選択肢はまったくありませんでした。漠然と『メーカーに入社して、国際的な舞台で仕事ができればいいな』と考えていたんです。きっかけをくれたのは、今理科大で准教授をしている平塚三好（東京理科大学大学院知的財産戦略専攻）さん。僕が大学院1年の時に、彼は学部4年で、一緒に研究をやっていたんですが、ある時平塚さんが『田島さん、こういうのがありますよ』と持って来てくれたのが日本航空の自社養成パイロット募集の案内でした。僕が初めてパイロットという職業に興味を持ったのはこの時でした」

試験は、筆記から英会話、飛行適性検査など、6次まである試験すべてにパスしなければならな

いという。

「1月に始まってひと月に1回、半年にわたって試験がありました。1次試験では1つの部屋で約100人の学生が受験したんですが、メガネをかけている学生が1人もいなかったことが、強烈に印象に残っています（笑）」

現在は国内線のほか、米州線、アジア線でのフライトを担当。パイロットという仕事のやりがいについて聞いてみると、

「運航条件が悪いフライトでは高い集中力が求められます。揺れが予想されるときには、適切な高度やコースを選んで機体の揺れを最小限に抑え、客室乗務員がより上質なサービスを行えるように注力します。また、福岡や伊丹のような市街地の空港に着陸する際には、逆噴射を抑えるなど、なるべく騒音をたてないように神経を使います。困難な状況でのフライトを無事に終えることができた時には、達成感を感じますね」

「理科大の後輩たちにメッセージを」、とお願いす



田島さんが操縦する飛行機のコックピット内。（駐機中に撮影したものです）

ると「ぜひ英語の実力を身につけてほしい」という答えが返ってきた。

「理科大生は伝統的に英語が苦手なんです（笑）、社会人になって周囲を見渡してみると、英語が苦手なためにキャリア形成の選択肢を狭めてしまうと感じる場面が多いんです。そしてもう一つ、自分の専門分野以外に“得意技”を持つことも大切です。脳腫瘍の『鍵穴手術』の考案者として知られる脳神経外科医の福島孝徳さんは、学生時代に趣味のドラムに熱中していたそうです。そして、ドラムの練習で培われた両手を自在に動かす技術が“神の手”と称される手術手技につながったというのです。専門分野と“もう一つの得意技”が結びつくことで新たな可能性が生まれる……そんなブレイクスルーが求められていると感じます。閉塞感が漂う時代ですが、ぜひ広い視野で自身の将来像をイメージしてほしい……そう願っています」

平成23年度卒業式を挙行

5,475人に学位記・修了証書を授与

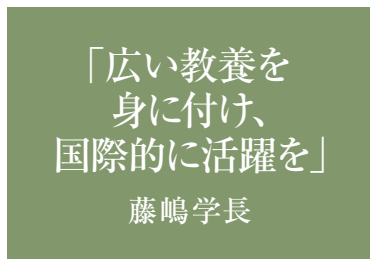
平成23年度の学位記・修了証書授与式が、3月18日（日）、東京・千代田区の日本武道館で挙行されました。5,475人の卒業生等は大いなる希望と夢を抱いて、それぞれの進路に羽ばたいていきました。

藤嶋昭学長は式辞の中で、東日本大震災後、改めて科学技術の重要性が再認識され、社会に出て、これまでに培った実力を発揮する好機であること、社会人として責任を果たし、人生を真に豊かにするためには広い教養を身に付けることが大切だとい

と、積極的に海外へ赴き、国際的に活躍してほしい、などのメッセージをこれから社会人になる卒業生・修了生に伝えました。

新たな進路へと旅立つ最後の一日、卒業生等はそれぞれ卒業証書等を授与された後、恩師や級友、ゼミやクラブの仲間との別れを惜しんでいました。

社会は変革の時代で卒業生等の行く手にもさまざまな試練が予想されますが、「実力主義」の伝統を受け継いだ本学出身者として、さらなる活躍を期待します。



長万部退寮式

2月20日（月）、長万部学寮第25回退寮式が行われました。退寮式では、学生に対して友岡康弘基礎工学部長、藤井志郎教養部長から激励の言葉があり、長万部町の白井捷一町長からは温かい言葉とともに記念品が贈呈されました。また代表学生2名の謝辞には、一同が思いを重ね目頭を熱くする様子も見られました。長万部学寮で1年間を過ごした318人の学生は、4月から野田キャンパスでの新しい歩みを始めます。



大学キャラクターが着ぐるみになりました。

本学キャラクターの「坊っちゃん」と「マドンナちゃん」をご存知でしょうか。創立125周年を記念して誕生した「坊っちゃん」と、理工系を志す女子学生を支援する「科学のマドンナ」プロジェクトで活躍する「マドンナちゃん」ですが、この度2人の着ぐるみが完成しました。全長約190センチと少し大柄ですが、トレードマークである袴やリボンも忠実に再現されています。既に今年度の入学式にて鮮烈デビューを飾っており、今後もさまざまな場所に二人仲良く登場する予定です。イベント等で見かけた際には優しく接してあげてください。



理/窓/会/だ/よ/り

上海理窓会が設立されました

2012年3月11日（日）上海市の中心街・淮海中路のオークラガーデンホテル上海で上海理窓会の設立総会が開催され、北カリフォルニアに次いで海外で2番目となる理窓会の支部が生まれました。

上海在住の卒業生30人と上海出身の在校生6人が集まり、大学からは塚本理事長、藤嶋学長と昨年来精力的に設立を支援された国際交流担当の渡辺常務理事、校友・父母担当の池北理事、古川国際化推進センター長ほか事務職員が参加。また、小暮上海日本人学校理事長はじめ9人の来賓を迎え、理窓会からは23人が日本から駆けつけ、総勢80人が記念すべき設立を祝いました。

設立総会に続き、塚本理事長と藤嶋学長は大学の更なる発展に向けての構想と期待を語り、特別講演の白木学シノー（株）社長（1947理・物）は学生時代のエピソードを交え超小型モーター製品開発にかける夢と苦心談を熱く語りかけました。

今回、上海理窓会の太谷三喜男会長（1979工・工化）、葉維英副会長（1994工・経工）以下、今まで相知ることのなかった多くの現地卒業生が一堂に会することができました。

このような機会を設定していただいた大学組織の皆さまに厚く御礼を申し上げるとともに、現地の皆さんのこれまでの努力に敬意を表し交流の輪が全世界に広がっていくことを期待しています。

理窓会会長 山田義幸



平成24年度オープンキャンパス ※詳細は本学HPでご確認ください。

開催日	神楽坂キャンパス（神楽坂校舎、九段校舎） ／平成24年8月8日（水）9:30～15:00 ※一部イベントについては事前申し込み制の予定
	野田キャンパス／平成24年8月7日（火）10:00～16:00
	久喜キャンパス／平成24年11月3日（土）10:00～16:00

●実施内容 学科説明会・模擬実験・研究室見学・進学相談・大学説明会ほか

国立美術館・国立科学博物館の利用について

本学は「国立美術館キャンパスメンバーズ」および「国立科学博物館パートナーシップ」に加入しているため、本学の学生および教職員はさまざまな特典が受けられます。

●国立美術館キャンパスメンバーズ

【特典】①所蔵作品展無料観覧 ②特別展・共催展割引観覧 ③フィルムセンター割引観覧

【対象施設】東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館、京都国立近代美術館、国立国際美術館

●国立科学博物館パートナーシップ ※対象は学生のみ

【特典】①常設展無料入館（筑波実験植物園、附属自然教育園含む）②特別展割引入館 ③各種講座の優先・割引受講

次号予告

- 工学部50周年記念式典
- 平成23年度決算報告
- サイエンスフェア開催報告

発行所

東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学広報課
☎03-3260-4271
http://www.tus.ac.jp/